

総合分析実験センター

自己点検評価報告書

平成20年度

平成 20 年度総合分析実験センター自己点検評価報告書

1. 部局等の目的・目標

佐賀大学総合分析実験センターは、本学における教育研究の総合的支援を目的とした全学共同施設で、「生物資源開発部門」、「機器分析部門」「放射性同位元素利用部門」および平成 18 年度新設の「環境安全部門」の 4 部門からなる。

生物資源開発部門は、組換え DNA 実験と動物実験に関する教育と研究、実験講習、教育訓練および安全管理を担当する。機器分析部門は、大型高性能分析機器類の維持管理、総合的な分析・測定に関する教育と研究、分析機器の使用講習会および教育訓練を担当する。放射性同位元素利用部門は、放射性同位元素等の利用に関する教育と研究、放射性同位元素等安全取扱講習会および安全管理を担当する。環境安全部門は、環境分析機器の安全管理と教育講習、環境整備及び環境分析に関する研究の支援、環境問題に関する共同研究の受入れ及び相談窓口、環境問題についての教育及び情報提供を担当する。これらの 4 部門が機能的に連携して学内の研究教育を総合的に支援する。

総合分析実験センターに関する本学の中期計画として、次の 3 項目が定められている。

- ①総合分析実験センターを基盤として、実験機器類の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備する。
- ②総合分析実験センターを研究支援組織の中核として整備し、研究室、研究機器等の共同利用を進める。
- ③学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図る。

2. 部局等の概要

佐賀大学総合分析実験センターは、社会的な要請度の高い生命、環境、材料等の研究やこれらの複合領域研究に対応できる人材の育成を総合的かつ効果的に支援する体制を構築するために、平成 14 年 4 月 1 日に、従来の「機器分析センター」と「放射性同位元素実験室」を「機器分析分野」、「放射性同位元素利用分野」に改組し、それに新設の「ライフサイエンス分野」を加えて学内共同教育研究支援施設として設立された。平成 15 年 10 月 1 日の佐賀医科大学との統合にあたり、同医科大学の動物実験施設、実験実習機器センター、RI 実験施設をさらに加え、生命科学領域の教育研究支援体制を充実させ、「生物資源開発部門」、「機器分析部門」および「放射性同位元素利用部門」の 3 部門からなる全学的な研究教育支援施設として新たな「総合分析実験センター」に生まれ変わった。さらに、平成 18 年度に「環境安全部門」を新設し、これらの 4 部門が連携して、学内の理工、農、医、文

化教育学分野の研究教育を総合的に支援している。各部門は、佐賀大学の本庄地区と鍋島地区にそれぞれに配置されており、センター長（兼任）、副センター長（兼任）、准教授 4 名、助教 2 名、教務員 2 名、技術専門職員 6 名、非常勤職員 4 名、研究支援推進員 1 名から構成されている（平成 21 年 3 月 31 日現在）。

平成 20 年度の動物実験施設、RI 実験施設（本庄・鍋島）の各施設利用者は延人数 13,785 名であり、センターに設置している設備・機器利用者は、延人数 39,692 名であった。また、センターを利用して得られた業績は、著書 7 件、学術論文（総説含む）163 件、受賞 6 件、学会発表 428 件で、センターが貢献した外部資金獲得は、52 件で総額 112,370,000 円である（6. センター利用実績参照）。このうち、センター専任の教職員が直接関わったものは、著書 1 件、学術論文（総説含む）17 件、特許出願 1 件、学会発表 47 件で、外部資金獲得は 8 件で総額 18,590,000 円である（7. センター教職員による業績参照）。これらの研究業績の多くに学生（博士・修士課程、および学部学生）が関与しており、センターの支援業務が本学の研究教育に大きく貢献していることが示されている。

3. 領域別の自己点検評価

（1）教育支援の領域

ア 教育支援環境に関する事項

総合分析実験センターを基盤として、実験機器類および生物資源の維持・開発と放射性同位元素利用に関する設備の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備することに、以下の事項を中心に取り組んだ。

- 1) 学生等が利用した機器とそれによって得られた研究成果の収集を年度ごとに行なうこととし、その調査対象とする機器、調査方法、データ整理について、平成 19 年度の検討内容をもとに、利用した機器とそれによって得られた研究成果の収集を行った。（平成 20 年度の利用実績を本報告書の末尾に示す。）
- 2) 学外研究機関等に所属する研究者等が総合分析実験センターを利用できるよう、平成 19 年 6 月より「受託試験」（<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>）を開始した。平成 20 年度の受託実績はなかったが、今後も情報の周知と、受託可能な機器の拡充を図っていく。
- 3) 共同利用可能な機器についての情報を発信するホームページは構築済みであり、共同利用機器のほとんどはその利用予約申込み、予約状況ならびに運用状況の確認がオンラインで可能になっている。また、鍋島機器においては平成 21 年度からの運用を目指し、利用者登録申請のオンライン化の準備を進め

ている。

- 4) 現在運用している機器利用システムのさらなる改善および共同利用機器の数の増加を図るために、共同利用可能機器についての調査依頼を全学に行う等の活動により、共同利用可能機器を増加させた（平成 20 年度末現在全 145 台。うち本庄地区 40 台、鍋島地区 105 台。<http://www.iac.saga-u.ac.jp/temp/instrument/list.htm>）。また、利用者メーリングリストを構築し、共同利用機器運用に関して迅速な情報提供を行う体制を構築した（機器分析部門鍋島地区）。
- 5) 低利用頻度機器、および譲渡希望機器の収納スペースを整備し（再活用室）、譲渡を希望する機器について情報を収集しホームページで情報開示するシステムの運用を開始した。また、HP やメールを利用して再活用室の周知を図り、年度末などに向けて活用を案内している。平成 21 年 6 月 23 日までに、23 物品について譲渡を完了している。（20 年度の実績は、1 物品）

イ センターが行う教育に関する事項（使用法、安全、規則等に関する教育）

総合分析実験センターが関わる、機器の使用法や法令・規則等の教育に関して、学生、および使用者、関係者に対して、必要な教育活動を行い、またその教育訓練体制の整備・改善に取り組んだ。

- 1) 放射線同位元素の取扱に必要な放射性同位元素業務従事者講習会は、本庄地区と鍋島地区で行っている。新規および更新の講習に関して、どちらか一方を受講すればよいようにしている。本年度は該当者がいなかったが、前年度までの実績として、鍋島地区の講習会を受講した教員 1 名、技術専門職員 1 名、学生 1 名の計 3 名を本庄地区の放射線業務従事者として登録した。また、新規および更新の放射性同位元素業務従事者講習会の実施回数の増加を図っており、新規講習会を本庄地区では、関係学部 4 年生の卒業研究開始時期を考慮して 6 月と 12 月の 2 回、鍋島地区では 4、5、6 月の 3 回に定期的に行うことに加え、希望者がいる場合には随時講習会を開くこととし、随時、講習会を実施している（20 年度は 4 月に施行）。更新の講習会に関しては、12 月から 3 月にかけて複数回開催し、更新者全員の便宜を図った。
- 2) 総合分析実験センターで行われる教育訓練の際、アンケート調査を随時行い、学生等のニーズを把握した。具体的には、本庄地区で開催した放射性同位元素業務従事者講習会ではこれまで、朝 9 時から 16 時まで連続で行っており、講習内容が専門的なものを含むため内容をフォローしきれない受講者がいたが、講習会を 2 日に分けることにより内容の理解を深められるよう配慮することにした。

- 3) 平成 19 年 4 月より「佐賀大学動物実験安全管理規則」が施行されたことに伴い、学内の「動物実験委員会」と連携し、動物実験を実施する研究者への教育訓練を実施した。また、年 2 回（本庄地区と鍋島地区で 1 回ずつ）定期に実施される教育訓練に加え、利用者の希望に応じて教育訓練を随時実施し（合計 10 回実施）、利用者の便宜を図った。
- 4) 年度末に利用者ミーティングを開催し、利用者からのニーズを把握するとともに円滑な共同利用環境の醸成をはかった（機器分析部門鍋島地区）。
- 5) 本庄地区および鍋島地区で遺伝子組換え実験に関する教育訓練を実施した。また、遺伝子組換え実験の申請書の提出前の事前の内容チェックを行っている。
- 6) 環境安全部門（本庄；兒玉、鍋島；寺東）では全学環境安全衛生管理室会議メンバーとして、薬品管理システムの運営、産業廃棄物委託表、および実験系廃棄物取り扱い手引き書の改訂作業に参画している。また、エコアクション 21 連絡会議メンバー（寺東）として、廃棄物処理改正等、学内 EMS 環境改善に貢献している。
- 7) 既に作成済みのマニュアル・手引きについて、更新が必要なものについては随時更新を行なっている。

ウ センター教職員が行う、学部等における教育活動に関する事項

専任教員、および技術職員は、上記の教育支援、および研究に関する教育・訓練だけでなく、教養教育運営機構に協力し、主題科目の開設、また、学部の講義・実習を担当するなど、学生の教育にあたっている。

機器分析部門本庄地区では、専任教員 1 名で、教養教育「身近な環境一知ろう・見よう・考えよう」「身近な環境一調べよう・深めよう・伝えよう」「佐賀環境フォーラム」「生活の化学」「機能物質化学」「機能物質化学実験」「大学入門科目」「やさしい実験化学」「機能物質化学特講 III」「理工学基礎科学（現代化学）」、および大学院工学研究科「分子集合化学特論」「物理化学特論」を担当している。また、技術職員と連携して、大学入門科目、「機能物質化学実験Ⅳ」を担当している。

生物資源開発部門本庄地区では、専任教員 1 名で、農学部の「分子細胞生物学」、大学院農学研究科の「分子細胞生物学特論」を担当している。

放射性同位元素利用部門本庄地区では専任教員 1 名で、農学部 4 年生及び農学研究科大学院生に対して研究指導を行っている。平成 22 年度より、大学院農学研究科の「微生物酵素学特論」及び「極限環境微生物学特論」を担当する予定である。

機器分析部門鍋島地区では、専任教員 1 名が、主題科目「環境因子と生体傷害」、

大学院医学研究科「生体傷害分析法」（修士課程）、「実験検査・機器特論」（修士課程：分担）、「機器分析法」（博士課程）、「アイソトープ分析法」（博士課程：分担）を担当するとともに、教務員 2 名と連携して医学部「基礎生命科学実習」を分担している。

生物資源開発部門鍋島地区では、専任教員 2 名で、主題科目「実験動物学」、医学部「基礎生命科学実習」分担、大学院医学研究科の「実験動物学特論」（修士課程）、「動物実験法」（博士課程）を担当している。

また、学生並びに大学院生への研究指導については、総合分析実験センターを主たる研究の場としている修士課程二年の学生（大学院農学研究科所属）が、来年度から日本学術振興会特別研究員 DC1 に採用されることになった。

（２）研究支援の領域

ア 学術・研究活動に関する事項

センター、およびセンターの活動を通じて本学における学術・研究の推進を図るため、次のことに取り組んだ。

- １） 学内外との共同研究を推進
- ２） 学外研究プロジェクトの応募に参画
- ３） 全国レベルのシンポジウムを開催

生物資源開発部門鍋島地区では、医学部、および農・理工・文教学部とも連携できる研究テーマの一つとして、生活習慣病の病態モデルとなる遺伝子組換えウサギの開発とそれを用いた分子病理学的研究を行っている。これに関して、総合分析実験センターにおいて開発された遺伝子組換えウサギを他の研究機関に分与するとともに共同研究を推進した。平成 20 年度は、国内 3 機関に 6 系統の遺伝子組換えウサギ、合計 150 匹を分与した。また、開発した 1 系統の遺伝子組換えウサギについて特許申請の準備をすすめた。全国レベルのシンポジウムとしては、「第 3 回ウサギフォーラム-医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開-」をウサギフォーラム委員として企画・開催を行なった。

機器分析部門本庄地区では製塩方法について特許出願（佐賀大学・北里大学の共同出願）を行った。製塩方法についての記事が佐賀新聞、朝日新聞で紹介された。これに関連して、海洋エネルギー研究センター全国共同利用研究に採択され、また福岡水道企業団の技術公募に採択され、それぞれ共同研究を実施している。

生物資源開発部門本庄地区では、開発したプラスミドの分与を 2 件行った（国内 1 件、ドイツ 1 件）。

また、センター各部門共同でセミナーを開催し、センター専任教員を中心とした部門間連携を強めるとともに、センターを中心として学内外との連携が可能な研究プロジェクトの検討を行っている（平成 20 年度実績全 3 回）。

イ 研究支援環境に関する事項

研究支援環境に関して以下のことに取り組み、本学全体、およびセンターにおける研究環境の改善を図った。

- 1) 3. (1) アー 4) に示すように、共同利用可能機器についての調査結果に基づいて、共同利用可能機器を増加させた。また、機器の運用状況が分かるようにするなど、ホームページの改善を行った。合わせて、低利用頻度機器、および譲渡希望機器の収納スペースを整備し（再活用室）、譲渡を希望する機器について予め情報を収集しホームページで情報開示するシステムの運用を一部始めた。HP への掲載、メールによる案内、学内へのポスター等での宣伝活動の結果、平成 21 年 6 月 23 日までに、23 物品の譲渡を完了し（20 年度実績は物品 1 件）、物品を必要とする研究者への調達費用の軽減と廃棄費用の削減に貢献した。これらの活動は、本学における研究・教育に関連する物品の処理費用低減と低コストでの調達を支援し、さらに研究・教育に必要なスペースの確保につながっており、さらに環境負荷の低減効果ももたらしめている。
- 2) 平成 18 年 4 月 1 日に環境安全部門を新設し、本庄地区および鍋島地区の同業務を同年 11 月 1 日着任した本庄地区機器分析部門担当准教授が担うこととした。環境安全部門の事業として 3R(Reduce, Reuse, Recycle)事業（搬出廃液・廃試薬の削減および低使用頻度、および廃棄予定物品のリサイクル、リユース事業）を提案し、本事業の一環である譲渡希望物品の情報収集、および情報開示のシステムの運用を開始した。また、低頻度物品の収納スペース（再活用室）を確保し、1) に示すように運用を開始した。3R 事業についてはエコアクション 21 連絡会議、環境安全衛生会議室会議等に廃棄物処理に関する改善策を提案している。今後、3R に関わる情報は総合分析実験センターのホームページやニュースレター等を通じて、本学全体に発信していく。
- 3) 化学系研究設備有効活用ネットワークの概算要求に対して復活再生要求機器リストを提出した。化学系研究設備有効活用ネットワークには佐賀大学から登録機器を提供し、ネットワークの運営に貢献している。その結果、再生復活機器（粉末 X 線装置のソフトのアップグレード。21 年度予算）への予算を獲得し、学内、およびネットワーク利用機器の充実に貢献した。
- 4) 遺伝子組換え動物作成の受託業務システムの導入に向けて、19 年に新たに採用された助教 1 名が技術習得に努めている。今年度は、学内の施設利用者

と試験的に遺伝子組換えマウスの作成に取り組んだ。

- 5) 動物実験に関して、研究テーマに即した飼育室・実験室の改善を検討した。特に、遺伝子組換えマウスの飼育スペースの不足に対して、設備や飼育機材の充実に向けて可能な限りの努力を行った。
- 6) 近年の研究方法の進歩により、動物実験施設の利用形態も以前とは大きく変わってきており、施設・設備の陳腐化や老朽化のため、現状では利用者からのニーズに対応できていない部分が多数見受けられるようになってきている。そこで、先端的研究を効率よく推進していくため、施設の全面改修、設備更新の必要性について関連部署、担当者等に説明し、予算措置の要求を行なった。その結果、高圧蒸気滅菌装置システムの更新予算を獲得することができた（21年度中に設置）。また、施設の改修について、引き続き、施設整備概算要求を提案した。
- 7) 学外研究機関による総合分析実験センター利用のために、前年度より「受託試験」を開始している（<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>）。

加えて、大学間の連携を高め、情報の共有や機器の相互利用を推進し、これを通じて本学における研究環境をよりよい物にするために、次のことに取り組んだ。

- 8) 他大学の共同利用可能機器に関する情報を大学内に知らせた。
- 9) 他大学へ総合分析実験センター内の共同利用可能機器に関する情報を発信した。
- 10) 国立大学法人生命科学研究機器施設協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動に協力した。
- 11) 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動や「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」へ対応するための活動に協力した。
- 12) 化学系研究設備有効活用ネットワークに協力し、協力への評価としての予算を獲得した（平成21年度概算要求配分額3,150,000円）。
- 13) 「国立大学法人動物実験施設協議会」に参加し、動物実験および実験動物に関連する情報収集、意見交換を行なった。また、協議会の調査等へに協力を行なった。

これらの活動を通じて得られた情報や成果を公開するためのホームページの更新を図った（<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>の「設備の大学間相互利用」を参照）。あわせて、佐賀大学として化学系研究設備有効活用ネットワークに協力し、共同利用機器を供出した。

また、優れた人材の活用のために次のことに取り組んだ。

1 4) 研究支援者の獲得

1 5) 技術職員の研究への参画を促進

そのために、研究支援者の採用を続けており、平成 20 年度は研究支援推進員 1 名を獲得した。

ウ センター職員による研究活動に関する事項

センターでは、ア、イに示す研究支援活動と並行して、センターの職員がそれぞれテーマをもって専門分野における研究を行っている。各職員が、日々、個々の専門分野で高いレベルの研究に携わることにより、その研究活動や研究交流を通じて最新の研究成果や情報を入手でき、それがセンターの教育研究支援の向上と、本学の研究教育の推進への貢献につながっている。

1) 生物資源開発部門本庄地区では、植物の受容体の生化学、植物のリポ多糖認識機構、新しい遺伝子組換え技術の開発をテーマに研究を行っている。

2) 生物資源開発部門鍋島地区では、部門の研究テーマとして、1) ヒト疾患モデルとしての遺伝子組換えウサギの開発と医学研究への応用、2) ウサギ精子および胚の凍結保存に関する研究に取り組んでいる。

3) 機器分析部門本庄地区では、アムール・オホーツクプロジェクトに参画し、アムール川河川水中の溶存有機物のオホーツク海域の生物生育への影響に関する研究に協力している。地下水中の有機物に関して、濃縮精製を行い、年代測定や構造特性の評価を行っている。海水中の溶存有機物に関して、その季節変動や地域間の変動を調査し、その構造特性の変化や陸域からの影響の大きさについて研究を行っている。民間の企業と協働し、中国長江下流域の環境改善事業へ参画、協力している。佐賀市の“バイオマスタウン構想”事業に関し、応談し、研究協力している。農林水産省“緊急対応型調査研究「クリーク底泥の安全性、および有効性の保証データの作成」”を通じて、地域の環境問題に関する研究を行っている。

4) 機器分析部門鍋島地区では、放射線や環境因子による DNA 傷害とその修復機構を生化学的、分子遺伝学的に検討し、生物の遺伝情報維持機構を明らかにするべく、准教授 1 名、教務員 2 名が協力して研究を行っている。また同准教授 1 名は、放射線医学総合研究所共同利用研究員として、重粒子放射線の生物影響について共同研究を行っている。

5) 放射性同位元素利用部門本庄地区では、極限環境微生物の生産する酵素の機能及び構造に関する研究を行っている。

平成 20 年度の研究成果は、著書・学術論文（総説含む）18 件、学会発表 47 件で、外部資金獲得は 8 件で総額 18,590,000 円である。研究成果の詳細は 6. に記す。

（３）国際交流・社会貢献の領域

ア 教育における社会連携・貢献に関する事項

センター教員が担当する講義内の活動として、学内にビオトープ（ホタル池）を整備運営し、ホタルの放流、鑑賞会等のイベントを行った。またそのイベント内で、保育園スタッフを含む地域市民と連携して、佐賀環境フォーラムワークショップ“環境教育”グループによる紙芝居を通じた環境教育を地域の幼稚園児や小学生への環境教育を行い、同時に市民への憩いの時間を提供した。今年度はさらに大学周辺自治会（西城内自治会、東城内自治会）のビオトープ整備、運営を支援している。

センター教員が、他大学・研究教育機関などでの講義・実習を担当した。福岡歯科大学大学院において、「実験動物の取扱い」の講義・実習を担当。大川看護福祉専門学校において、「微生物学」の講義を担当。佐賀県高等学校理科教育研究大会で、講演。鹿児島大学大学院理工学研究科の「研究科特別講義」において、非常勤講師として、講義を担当。

イ 研究における社会連携・貢献に関する事項

学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図るために、以下のことに取り組んだ。

- １） 前年度から「受託試験」を開始している (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)。
- ２） 地域に貢献する研究支援活動を行うために、佐賀大学産学連携推進機構を活用し、同機構のホームページからの情報発信に協力している。

以下のことに取り組むことにより、学外の研究者との連携を深め、地域社会の研究推進や学会活動に貢献した。

- ３） 佐賀県農業研究試験研究センターと農学部、理工学部、および NPO 団体との協働により、農林水産省助成事業“新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業”にて、「クリーク底泥の安全性、および有効性の保証データの作成」研究を行った。
- ４） 佐賀県バイオマスエネルギー計画、佐賀市バイオマスタウン構想に協力し、民間の研究への相談に対応し、共同研究計画を策定中である。
- ５） 第 26 回九州実験動物研究会総会ならびに第 28 回実験動物技術者協会九州支部研究発表会を主催し、佐賀大学鍋島キャンパスで実施した。

- 6) 海洋エネルギー研究センターの全国共同利用研究の一環として、海水資源の有価資源物質の分離・回収技術（製塩技術）について 2008 年共同研究成果報告会で発表した。
- 7) 鹿児島大学フロンティアサイエンス研究センター(FSRC)のプロジェクト研究「21 世紀の農業を担う新技術開発に向けた先導研究 ―植物―微生物相互作用とホルモン農薬の有効利用―」の外部評価委員をした。
- 8) 「佐賀環境フォーラム」の活動において、佐賀市と協力し、佐賀市内公立小中学校のシックスクール調査を行っている。

ウ その他国際交流・社会貢献に関する事項

- 1) ホームページを通じて、開発したベクターDNA を国内外に分与する活動を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/pSU0/>)。20 年度には、開発したプラスミドの分与を 2 件した（国内 1 件、ドイツ 1 件）。
- 2) 民間企業と提携し、中国、太湖の浄化計画に協力している。
- 3) 文科省の二国間交流事業として共同研究を進めた。7 月には、ハンガリー Agricultural Biotechnology Center から 2 名が当センターを訪れた。また、8 月には、センターの専任教員 1 名が、ハンガリーを訪問し、それぞれ技術交換等の共同研究を進めた。
- 4) 二国間交流事業共同研究で 6 月にハンガリー University of Szeged より Prof. Etelka Tombacz 他 3 名が来訪。
- 5) IAP2008(International Conference Interfaces Against Pollution, Kyoto, Japan)において Organizing Committee として貢献した。
- 6) 日本腐植物質学会常任幹事および国際腐植物質学会(IHSS)日本支部事務局として、学会の運営に貢献した。
- 7) 環境関連の二つの NPO の理事として活動に協力している。

(4) 組織運営の領域

ア 教育研究組織の編成・管理運営に関する事項

本庄地区と鍋島地区のテレビ会議システムを活用して会議を行った。

イ 財務に関する事項

- 1) 自己収入の増加を図ることも一つの目標として、学外研究機関による総合分析実験センター利用のために、自己収入の増加を図ることも一つの目標として、前年度から「受託試験」を開始している (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)。

- 2) 遺伝子組換え動物の受託作成に向けて、試験的に学内の利用者と遺伝子組換えマウスの作成に取り組んだ。
- 3) 光熱水費削減を目的に動物実験施設の空調設備の運転状況の見直し・変更を継続して実施している。業務委託費の節約を図るため、業務委託費の節約を図るため、昨年度から自ら行っている作業環境測定を今年度も自ら行った。また、保管廃棄されていた有機シンチレータ廃液 150L の焼却処理を自ら行った。

ウ その他組織運営に関する事項

- 1) エコアクション 21 の認証取得を目指した取り組みに参画した。詳細は、3. (1) -イ- 2)、3. (2) -イ- 2) を参照。
- 2) 平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業」大学教育推進プログラム（教育 GP）の申請書作成 WG に参加した。
- 3) 環境安全管理に関して、准教授 1 名が危険物取扱者資格取得および特別管理産業廃棄物主任の資格を取得し、鍋島地区のこれら業務を主担当することとなった。
- 4) 化学物質管理システム（CRIS）の全学運用に関して、准教授 2 名が管理主担当となり、それぞれ本庄地区および鍋島地区の同運用について安全衛生管理室と協力していくこととなった。
- 5) 本庄地区 RI 施設の作業環境測定について、助教 1 名が作業環境測定士の資格を取得し、引き続き自身で行っていく体制をとった。また鍋島地区においても教務員 1 名が同資格を取得し、非 RI 区域の作業環境測定について協力している。

エ その他、大学運営に関わる事項

センターの教員は、動物実験委員会、遺伝子組換え実験安全委員会、鍋島キャンパスエネルギー管理協議会、環境安全衛生室会議、医学部安全衛生委員会、エコアクション 21 全学委員会、同医学部委員会委員、医学部エネルギー対策委員会などに参画し、また、様々なワーキンググループに参画するなどして、その専門知識を活かして大学運営に貢献している。また、医学部総合問題部会に参画し、入学試験の作成・採点等にも貢献した。

(5) 施設の領域

ア 施設、設備等に関する事項

災害対策マニュアルに関して、以下の活動を行った。

- 1) 総合分析実験センターとしての「災害対策マニュアル」を全学的なマニュアルと整合性をとりながら作成し、災害対策マニュアルについてホームページで公開した (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/saigai.pdf>)。なお、放射線施設に関しては、放射線障害予防規定に「地震等の災害時における措置」について定めている。また、動物実験施設においても独自の「緊急時対応手引き」を作成し、ホームページ上で公開している。

4. 外部評価

本報告書の評価を、運営委員会で承認された学外の委員からなる委員会に依頼した。委嘱した委員を以下に示す(順不同、敬称略)。

- 1) 大山義彦 教授 安田女子大学 薬学部 薬学科
- 2) 松田尚樹 教授 長崎大学 先導生命科学研究支援センター
- 3) 上村亮三 准教授 鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター
- 4) 森本正敏 教授 熊本保健科学大学リハビリテーション学科
- 5) 西本潤 准教授 県立広島大学生命環境学部環境科学科
- 6) 稲葉丈人 プロジェクト教員(准教授待遇) 岩手大学大学院連合農学研究科

本来、各委員に依頼したのは本報告書の妥当性であるが、各委員からは、センターの自己評価の基準とすべき達成目標やその基準設定、センターの抱える問題点とそれに対する取り組みや今後の課題、具体例の記載などに関して、様々な指摘や助言を頂いた。

これらの指摘や助言は、報告書の形式や内容に関する物にとどまらず、センターそのもののあり方や問題点に直結していることであることから、本報告書の修正は最小限にとどめ、指摘・助言に関して、センター教職員間で、継続的に検討を重ね、次年度以降のセンターの運営、およびその結果としての自己点検評価書に反映させるべく努力するものとした。なお、各委員からのご意見を本報告書の末尾に添付した。

各評価委員の方々には、本評価書、およびセンターの運営等に関して、様々な視点からの検討を加えていただいたことに対して、この場を借りて深謝の意を表する。

5. 総括

本センターの主たる業務は、本学における教育・研究の支援であり、6. のセンター利用実績に示すように、教職員、および学生の利用者数、あるいはセンターの利用により得られた発表業績や外部資金獲得の結果から、本センターが有効に活用されていると考えられる。また、本センターに所属する教員はそれぞれ独自の研究テーマを持ち、7. に示されるように、各教員がそれぞれ研究成果を上げているとともに、こうした研究活動や研究交流を通じて、センターの教育研究支援レベルの向上に結びついている。また、センターの教員は、その知識・技能・資格、あるいは保有設備などをいかして、講義や実習を担当することにより教育に直接関わるほか、委員会活動などを通じて本学の運営にも貢献している。さらに、センターでは、学会活動や地域社会の研究推進や環境保全活動などにも参加・協力しており、こうした活動は、地域における、あるいは国内外における本学に対する評価を高めているものと考えられる。

しかしながら、センターの保有機器、あるいはセンターの施設そのものが老朽化している物が多く、教育・研究の支援に支障を来していることは大きな問題である。この件に関しては、施設の改修や新しい機器の導入のための概算要求などを継続して行っているが、それに加えて、現有の機器の保守、現有の施設の維持管理に関わる学内の予算措置の要求を行っていく必要がある。佐賀大学における教育・研究支援組織の中核として位置づけられている総合分析実験センターの支援環境整備に、本学全体の理解と協力をお願いしたい。

6. センター利用実績

(1) 平成20年度総合分析実験センター施設、設備・機器利用者数

施設利用実績		
施設	のべ利用者数	備考
動物実験施設	11,621	登録者数 教職員 308、学生 144、他 6
鍋島地区 RI 実験施設	1,154	登録者数 教職員 20、学生 10
本庄地区 RI 実験室	1,010	登録者数 教職員 13、学生 29

機器利用者数		
機器	のべ利用者数	備考
(鍋島地区機器分析部門)		
低温室・恒温室	2,115	(2F 製氷機室)
低温室・恒温室	294	(3F 製氷機室)
低温室・恒温室	298	(4F 製氷機室)
エレクトロマシニング	483	(2147-01 室)
サーバー	111	(2147-02 室)
セミナー室	261	(2260 室)
超低温庫室	866	(2148 室)
低温室	126	(院 2F)
生理実験室	339	(2306 室)
培養室	357	(2148 室)
標本作成室	429	(2259 室)
環境安全部門室	2,568	(2219 室)
細胞自動解析装置 FACScan, FACScalibur, ELITE	1,823	(2168 室)
高温振とう機、マイクロアレイ	645	(2169 室)
DNA シークエンサー イメージアナライザー ゲル撮影装置 リアルタイム PCR	5,489	(2327 室)
DNA シークエンサー リアルタイム PCR パルスフィールド電気泳動装置	1,914	(2430 室)
HPLC pH メーター 分光光度計	387	(2256 室)
フィルムスキャナー ピクトログラフィー 液晶プロジェクター	490	(2144 室)
原子吸光計 ガスクロマトグラフィー ガスマス	738	(2417 室)
蛍光顕微鏡 共焦点レーザー顕微鏡	1,332	(2229 室)
走査型電子顕微鏡	95	(2228-01 室)
走査型電子顕微鏡	64	(2228-02 室)
オートクレーブ 乾熱滅菌器 蒸留水作製装置	1,426	(2218 室)
超遠心機 遠心濃縮機 真空乾燥機	844	(2326 室)
透過型電子顕微鏡	970	(2257 室)

HPLC BIACORE AKTAexplorer	456	(2255 室)
透過型電子顕微鏡	215	(2227-01 室)
透過型電子顕微鏡	1,999	(2227-02 室)
(本庄地区 RI 部門)		
液体シンチレーションカウンタ	31	81 h
MALDI-TOF MS	94	78 h
X 線照射装置		故障中
バイオイメージングアナライザ	7	15 h
焼却炉	3	27 h
分光光度計	296	
ガンマカウンタ	3	6 h
空気捕集装置	36	
H/C サンプラー	36	
高温振とう器	11	171 h
(本庄地区機器分析部門・生物資源開発部門)		
紫外可視近赤外分光光度計	262	462 h
電子スピン共鳴装置	140	140 h
顕微付フーリエ変換赤外分光光度計	407	482 h
粉末 X 線回折装置	640	1,080 h
4 軸型単結晶自動回折装置		5,640 h
ガスクロマトグラフ質量分析計	1,211	3,490 サンプル
超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置	6,444	2,071 h
円偏光二色性分散計	47	119 h
蛍光光度計	30	119 h
エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置	133	389 h
電気泳動光散乱分散計		524 h
DNA シーケンサー	2,727	

(2) 平成20年度総合分析実験センターを利用して得られた業績

著書		
著者	書名	担当題目 (共著の場合)
永野幸生	分子細胞生物学辞典 (東京化学同人)	項目の一つを執筆
吉賀豊司	寄生と共生 (東海大学出版会)	第7章 昆虫病原性線虫と細菌の共生
野口英行	リチウム二次電池部材の 高容量・高出力化と安全 性向上 (技術情報協会)	第1章第2節 マンガン系正極材料の要求特性・性能評価
大渡啓介, 井上勝利	有害陰イオンの回収	
大渡啓介	カリックスアレーンの応用	
S. Emori, Y. Muto, and W. Mori	Magnetic Properties of the Nickel (II) 1,4-Cyclohexane- dicarboxylate 2,2-Dimethylpropanoate Complex with 4,4'- Bipyridine and Related Nickel (II) Complexes	
M. Yoshio and H. Noguchi	A review of positive electrode materials for lithium-ion batteries (Springer)	

総説・資料・解説・特許など		
著者名 (多数の場合、略記可)	雑誌名	題目
Maki Nagata, Masahito Hashimoto, Ei-ichi Murakami, Yoshikazu Shimoda, Fuyuko Shimoda-Sasakura, Ken-ichi Kucho, Akihiro Suzuki, Mikiko Abe, Shiro Higashi and Toshiki Uchiumi	Plant Signaling & Behavior 4, 202-204	A possible role of class 1 plant hemoglobin at the early stage of legume-rhizobium symbiosis.
Md. Abdul Mannan, T. Kida, M. Nagano, N. Hirao, Y. Baba	Proc. the 25th International Korea-Japan Seminar on Ceramics, 2008, 164-164	Atomic arrangement, composition and orientation of hexagonal BCN films synthesized by radiofrequency plasma enhanced CVD
N. Bagano, Md.A. Mannan, R. Oshima, N. Hirao, Y. Baba	Photon Factory Activity Report 2007, PartB, 2009, 25-25	BCN films prepared by RF plasma enhanced chemical vapor deposition
Yoshida H, Miyazaki Y.	Int. J. Biochem. Cell Biol. 40, 2379-2383	Interleukin 27 signaling pathways in regulation of immune and autoimmune responses
Yoshida H, Miyazaki Y.	Immunol Rev 226, 234-247	Regulation of Immune Responses by Interleukin 27
Yuko Inoue, Toshio Torikai, Takanori Watari, Mitsunori Yada	Microprocesses and Nanotechnology 2008, 294-295	Titanium Nanotube and Nanofiber Films Formed on a Titanium Metal Plate
河本正秀, 清水伸隆, 馬場清喜, 平田邦生, 石地耕太郎, 隅谷和嗣, 本島浩之, 岡島敏浩, 熊坂崇, 渡邊啓一, 山本雅貴	放射光 (日本放射光学会誌) 21, 194-203	SAGA・LS におけるタンパク質結晶の長波長 X 線回折実験の試み

原博満	臨床免疫・アレルギー科 49, 357-364	リンパ系細胞と骨髄系細胞における NF- κ B 活性化, MAPK 活性化誘導アダプターの相違
高棕利幸	日本中性子科学会誌「波紋」, 18, 3841	小角中性子散乱でみる混合溶媒の濃度ゆらぎ
大渡啓介	平成19年度文部科学省 原子力システム研究開発 事業成果報告書, 2008, 1-46	天然物を有効活用した難分離性長寿命核種の分離技術の研究開発
大島敏久、櫻庭春彦、川上竜巳、里村武範、津下英明	日本応用酵素協会誌 43, 33-44	超好熱性アーキアのフラビン含有アミノ酸脱水素酵素の機能と構造、及び応用
井上勝利	リンの吸着剤およびリンの除去方法	特開 2009-22877 (P2009-22877A)
花本猛士	ビルディングブロック剤及びその製造方法、並びにアジリジン化合物の製造方法及びイミド化合物の製造方法	特願(未公開)
川喜田英孝、濱本幸志、吉村優子、中野沙知子、井上勝利、大渡啓介	金属吸着材の製造方法及び金属吸着材	特願(未公開)
中村博吉	蓄電デバイス	特願(未公開)
池田進	製塩方法	特願(未公開)
大渡啓介	吸着剤及び貴金属の回収方法	特願 2008-098566
大渡啓介	金属吸着剤の製造方法及び金属吸着剤 2008	特願 2008-198236

原著論文		
著者	雑誌	題目
Sakuraba H, Yoneda K, Satomura T, Kawakami R, Ohshima T.	Acta Crystallographica Section F F65, 199-203	Structure of a D-tagatose 3-epimerase-related protein from the hyperthermophilic bacterium Thermotoga maritima
Misago N, Joh K, Yatsuki H, Soejima H, Narisawa Y.	Acta Dermato-Venereologica 88, 423-425	A BHD Germline Mutation Identified in an Asian Family with Birt-Hogg-Dubé Syndrome.
Shimazu R, Kusano K, Kuratomi Y, Inokuchi A.	Acta Otolaryngol. 18, 1-7	Histological changes of the pharynx and larynx in rats with chronic acid reflux esophagitis.
Yamada S., Wang K-Y., Tanimoto A, Fan J., Shimajiri S., Kitajima S., Morimoto M., Tsutsui M., Watanabe T., Yasumoto K. and Sasaguri Y.	Am. J. Pathol. 172, 1419-1429	Matrix metalloproteinase 12 is a factor that accelerates the initiation of atherosclerosis and stimulates the progression of fatty streaks to fibrous plaques in transgenic rabbits.
Higaki Y, Mikami T, Fujii N, Hirshman M, Koyama K, Seino T, Tanaka K, Goodyear L	Am. J. Physiol. 294, E889-E897	Oxidative stress stimulates skeletal muscle glucose uptake through a phosphatidylinositol-3-kinase-dependent pathway
T. Takamuku, Y. Honda, K. Fujii, S. Kittaka	Anal. Sci. 24, 1285-1290	Aggregation of Imidazolium Ionic Liquids in Molecular Liquids Studied by Small-Angle Neutron Scattering and NMR
M. Koikawa, Y. Matsuda, and T. Tokii	Anal. Scienc.: X-ray Structure Analysis Online 24, x283-x284	Synthesis and Crystal Structure of a Mononuclear Copper(II) Complex of <i>N,N'</i> -Bis-2,3,4-trihydroxybenzylidene-1,2-phenylenediamine
M. Muto, M. Koikawa, and T. Tokii	Anal. Scienc.: X-ray Structure Analysis Online 24, x47-x48	Synthesis and Structure of Mononuclear Iron(III) Complex of 6-Hydroxy-2-(5-bromo-2-hydroxyphenyl)-5-(5-bromosalicylideneamino)benzoxazole

Sugiyama N, Nakashima H, Yoshimura T, Sadanaga A, Shimizu S, Masutani K, Igawa T, Akahoshi M, Miyake K, Takeda A, Yoshimura A, Hamano S, Yoshida H.	Ann. Rheum. Dis. 67, 1461-1467	Amelioration of human lupus-like phenotypes in MRL/lpr mice by overexpression of interleukin 27 receptor alpha (WSX-1)
Tojo, S., Hayakawa, Y., Phaophon P.	Appl. Entomol. Zool. 43, 491-496	Strains in the common cutworm, <i>Spodoptera litura</i> (Lepidoptera: Noctuidae) with differing host ranges.
Ryuda, M., Nakayama, H. and Hayakawa, Y.	Appl. Entomol. Zool. 43, 563-568	A novel gene associated with intraspecific predation in <i>Spodoptera litura</i> larvae.
H.Furugou, K.Ohto, H.Kawakita, H.Harada, K.Inoue	Ars Separatoria Acta 5, 68-75	Preparation of thioester type of broom extractant with silver selectivity
Tada Y, Koarada S, Morito F, Mitamura M, Inoue H, Suematsu R, Ohta A, Miyake K, Nagasawa K.	Arthritis Res Ther 10, R121	Toll-like receptor homolog RP105 modulates the antigen-presenting cell function and regulates the development of collagen-induced arthritis.
Miyazaki Y, Shimano Y, Wang S, Yoshida H.	Biochem. Biophys. Res. Commun. 373, 397-402	Amelioration of delayed-type hypersensitivity responses by IL-27 administration
Takagi Y, Hidaka M, Sanada M, Yoshida H, Sekiguchi M.	Biochem. Pharmacol. 76, 303-311	Different initial steps of apoptosis induced by two types of antineoplastic drugs
Natsuko Nishi, Shuichi Yamamoto, Weilin Ou, Eriko Muro, Yukiko Inada, Yuhei Hamasaki	Biochemical Biophysical Research Communications 376, 234-240	Enhanced CCL26 production by IL-4 through IFN- γ -induced upregulation of type 1 IL-4 receptor in keratinocytes.
Yamamoto S, Ichishima K, Ehara T	Biomedical Research 29, 307-315	Regulation of volume-regulated outwardly rectifying anion channels by phosphatidylinositol 3,4,5-trisphosphate in mouse ventricular cells
Durga Parajuli, Chaitanya Raj Adhikari, Hidetaka Kawakita, Sayaka Yamada, Keisuke Ohto, Katsutoshi Inoue	Biore. Technol 100, 1000-1002	Chestnut pellicle for the recovery of gold
B.K. Biswas, K. Inoue, K.N. Ghimire, H. Harada, K. Ohto, H. Kawakita	Biores. Technol 99, 8685-8690	Removal and recovery of phosphorus from water by means of adsorption onto orange waste gel loaded with zirconium
D. Parajuli, C.R. Adhikari, H. Kawakita, S.Yamada, K. Ohto, K. Inoue	Biores. Technol. 100, 1000-1002	Chestnut pellicle for the recovery of gold
K.N. Ghimire, K. Huang, K. Inoue, K. Ohto, H. Kawakita, H. Harada, M. Morita	Bioresouce Technology 99, 2436-2441	Heavy metal removal from contaminated scallop waste for feed and fertilizer application
Ghimire, Kedar Nath; Kai, Huang; Inoue, Katsutoshi; Ohto, Keisuke; Kawakita, Hidetaka; Harada, Hiroyuki; Morita, Minoru	Bioresource Technology 99, 2436-2441	Heavy metal removal from contaminated scallop waste for feed and fertilizer application
N. Inoue, N. Yamano, K. Sakata, K. Nagao, Y. Hama, T. Yanagita	Biosci. Biotechnol. Biochem. 73, 447-449	The sulfated polysaccharide porphyran reduces apolipoprotein B100 secretion and lipid synthesis in HepG2 cells.
Ping-Guo Duan, Hitoshi Kawano, Sadahiko Masuko	Brain Res. 1198, 68-72	Collateral projections from the subfornical organ to the median preoptic nucleus and paraventricular hypothalamic nucleus in the rat

Duan P-G, Kawano H, Masuko S	Brain Research 1198, 68-72	Collateral projections from the subfornical organ to the median preoptic nucleus and paraventricular hypothalamic nucleus in the rat
T. Anai, T. Yamada, R. Hideshima, T. Kinoshita, S. M. Rahman, Y. Takagi	Breeding Science 58, 447-452	Two high oleic acid soybean mutants, M23 and KK21, disrupt the microsomal omega-6 fatty acid desaturase activity encoded by GmFAD2-1a gene.
J. Taira, S. Furukawa, T. Hatakeyama, H. Aoyagi, H. Kodama	Bull. Chem. Soc. Jpn. 81, 733-739	Modifications of Hydrophobic Value and Hydrophobic Moment Value of Cationic Model Peptides for Conversion of Peptide-Membrane Interactions
Sueoka-Aragane N, Imai K, Komiya K, Sato A, Tominasu R, Hisatomi T, Sakuragi T, Mitsuoka M, Hayashi S, Nakachi K, Sueoka E	Cancer Sci 99, 1180-1187	Exon 19 of EGFR mutation in relation to the CA-repeat polymorphism in intron 1
Kamochi N, Nakashima M, Aoki S, Uchihashi K, Sugihara H, Toda S, Kudo S.	Cancer Sci 99, 2417-2472	Irradiated fibroblast-induced bystander effects on invasive growth of squamous cell carcinoma under cancer-stromal cell interaction.
Sueoka-Aragane N, Imai K, Komiya K, Sato A, Tomimasu R, Hisatomi T, Sakuragi T, Mitsuoka M, Hayashi S, Nakachi K, Sueoka E.	Cancer Sci. 99, 1180-1187	Exon 19 of EGFR mutation in relation to the CA-repeat polymorphism in intron 1.
Hirokazu Seto, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Katsutoshi Inoue	Carbohydr. Polym 74, 627-631	Dextran formation on hydroxyapatite by immobilized dextranucrase to control protein adsorption
Ohsawa S, Hamada S, Yoshida H, Miura M.	Cell Death Differ. 15, 1429-1439	Caspase-mediated changes in histone H1 in early apoptosis: prolonged caspase activation in developing olfactory sensory neurons
Lu M, Varley AW, Ohta S, Hardwick J, Munford RS.	Cell Host Microbe 4, 293-302	Host inactivation of bacterial lipopolysaccharide prevents prolonged tolerance following gram-negative bacterial infection.
Juzo Oyamada, Tsugio Kitamura	Chem. Commun. 4992-4994	Drastic effect of bidentate phosphine ligands on Pd-catalyzed hydroarylation of ethyl propiolate: a simple route to arylbutadienes
Takuya Hashimoto, Naomi Iguchi, Juzo Oyamada, Tsugio Kitamura	Chem. Lett. 37, 910-911	Direct functionalization of polystyrenes by platinum(II)-catalyzed hydroarylation. A new methodology for utilization of polymers
D. Liu, A. Khanal, K. Nakashima, Y. Inoue, and M. Yada	Chem. Lett. 38, 130	Fine-Tuning of Cavity Size and Wall Thickness of Silica Hollow Nanoparticles by Templating Polymeric Micelles with Core-Shell-Corona Structure
井上侑子, 魚田将史, 内ヶ崎雅夫, 西俊一, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	Chemistry of Materials 20, 5652-5656	Helical Ruthenium Compound Templated by 1-Dodecanesulfonate Assemblies and Its Conversion into Helical Ruthenium Oxide and Helical Metallic Ruthenium
Adhikari, Chaitanya Raj; Parajuli, Durga; Inoue, Katsutoshi; Ohto, Keisuke; Kawakita, Hidetaka	Chemosphere 72, 182-188	Pre-concentration and separation of heavy metal ions by chemically modified waste paper gel

R.C. Adhikari, D. Parajuli, K. Inoue, K. Ohto, H. Kawakita	Chemosphere 72, 182-188	Pre-concentration and separation of heavy metal ions by chemically modified waste paper gel
Kikuchi Y, Koarada S, Nakamura S, Yonemitsu N, Tada Y, Haruta Y, Morito F, Ohta A, Miyake K, Horiuchi T, Nagasawa K.	Clin Exp Rheumatol 26, 5-12	Increase of RP105-lacking activated B cells in the peripheral blood and salivary glands in patients with Sjogren's syndrome.
Seiji Tsunada, Kotaro Mannen, Kanako Yamaguchi, Shigehisa Aoki, Kazuyoshi Uchihashi, Shuji Toda, Takehiro Fujise, Ryo Shimoda, Hiroyuki Sakata, Ryuichi Iwakiri and Kazuma Fujimoto	Clinical Journal of Gastroenterology 1, 18-22	A case of advanced colonic cancer that developed from residual laterally spreading tumor treated by piecemeal endoscopic mucosal resection
B. Bharatiya, C. Guo, J. H. Ma, O. Kubota, K. Nakashima, and P. Bahadur	Colloid Polym. Sci. 287, 63	Urea-induced Demicellization of Pluronic L64 in Water
A. Khanal, S. Yusa, and K. Nakashima	Colloids Surf. A 320, 146	Nanoaggregates of ABC-type triple hydrophilic block copolymers by binding of cationic surfactant
J. P. Mata, P. R. Majhi, M. Yamashita, A. Khanal, K. Nakashima, and P. Bahadur	Disper. Sci. Technol. 29, 1248.	Aggregation Behavior of Pluronic-L64 in Presence of Sodium Dodecyl Sulphate in Water
Sonoda E, Aoki S, Uchihashi K, Soejima H, Kanaji S, Izuhara K, Satoh S, Fujitani N, Sugihara H, Toda S.	Endocrinology 149, 4794-4798	A new organotypic culture of adipose tissue fragments maintains viable mature adipocytes for a long term, together with development of immature adipocytes and mesenchymal stem cell-like cells.
Chaitanya Raj Adhikari, Durga Parajuli, Hidetaka Kawakita, Katsutoshi Inoue, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada	Environ. Sci. Technol 42, 5486-5491	Dimethylamine-modified waste paper for the recovery of precious metals
C.R. Adhikari, D. Parajuli, H. Kawakita, K. Inoue, K. Ohto, H. Harada	Environ. Sci. Technol. 42, 5486-5491	Dimethylamine-modified waste paper for the recovery of precious metals
Kanaji S, Kanaji T, Migita M, Kunishima S, Okamura T, TJ Kunicki, Izuhara K.	Eur. J. Haematol. 80, 361-364	Characterization of a patient with atypical amegakaryocytic thrombocytopenia.
Park JM, Kakimoto T, Kuroki T, Shiraishi R, Fujise T, Iwakiri R, Fujimoto K	Exp Biol Med 233, 48-56	Suppression of intestinal mucosal apoptosis by ghrelin in fasted rats.
Kakimoto T, Fujise T, Shiraishi R, Kuroki T, Park JM, Ootani A, Sakata Y, Tsunada S, Iwakiri R, Fujimoto K	Exp Biol Med 233, 310-316	Indigestible material attenuated changes in apoptosis in the fasted rat jejunal mucosa.
Ninomiya, Y., Kurakake, M., Oda, Y., Tsuzuki, S. and Hayakawa, Y.	FEBS J. 275, 894-902	Insect cytokine growth-blocking peptide signaling cascades regulate two separate groups of target genes.
Yakabe S, Soejima H, Yatsuki H, Tominaga H, Zhao W, Higashimoto K, Joh K, Kudo S, Miyazaki K, Mukai T.	Genes Genet Syst 83, 199-208	MeCP2 knockdown reveals DNA methylation-independent gene repression of target genes in living cells and a bias in the cellular location of target gene products.
M. Yamamoto, A.A. Abkenar, R. Matsumoto, T. Kubo, S. Tominaga	Genet. Resour. Crop Evol 55, 1167-1173	CMA Staining Analysis of Chromosomes in several species belong to Aurantioideae
A.A. Abkenar, S. Isshiki, R. Matsumoto, Y. Tashiro	Genet. Resour. Crop Evol 55, 387-392	Comparative analysis of organelle DNAs in acid citrus grown in Japan using PCR-RFLP method

Yu Y., Koike T., Kitajima S., Liu E., Morimoto M., Shiomi M., Hatakeyama K., Asada Y., Wang K-Y., Sasaguri Y., Watanabe T. and Fan, J.	Histol. Histopathol. 23, 1503-1516	Temporal and quantitative analysis of expression of metalloproteinase (MMPs) and their endogenous inhibitors in atherosclerotic lesions.
Maming, Jumina, D. Siswanta, H. Sastrohamidjojo, K. Ohto	Ind. J.Chem 8, 300-302	TRANSPORT BEHAVIOR OF Cr(III), Cd(II), Pb(II), AND Ag(I) IONS THROUGH BULK LIQUID MEMBRANE CONTAINING p-tert-BUTYLCALIX [4] ARENETETRAETHYLACETAMIDE AS ION CARRIER
D. Liu and K. Nakashima	Inorg. Chem. 48, 3898	Synthesis of Hollow Metal Oxide Nanospheres by Templating Polymeric Micelles with Core-Shell-Corona Architecture
Yoshimura T.Sonoda K.H, Miyazaki Y, Iwakura Y, Ishibashi T, Yoshimura A, Yoshida H.	Int. Immunol. 20, 209-214	Differential roles for IFN-gamma and IL-17 in experimental autoimmune uveoretinitis
Shinozaki Y, Wang S, Miyazaki Y, Miyazaki K, Yamada H, Yoshikai Y, Hara H, Yoshida H.	Int. J. Cancer 124, 1372-1378	Tumor-specific cytotoxic T cell generation and dendritic cell function are differentially regulated by interleukin 27 during development of anti-tumor immunity
Oku E, Kanaji T, Tanaka Y, Ohshima K, Seki R, Morishige S, Imamura R, Ohtsubo K, Hashiguchi M, Osaki K, Yakushiji K, Yoshimoto K, Ogata H, Hamada H, Izuhara K, Sata M, Okumura T.	Int. J. Hematol. 88, 57-63	Periostin and bone marrow fibrosis.
Sato A, Sueoka-Aragane N, Saitoh J, Komiya K, Hisatomi T, Tomimasu R, Hayashi S, Sueoka E	J Cancer Res Clin Oncol 134, 1191-1197	Establishment of a new method, transcription-reverse transcription concerted reaction, for detection of plasma <i>hnRNP B1</i> mRNA, a biomarker of lung cancer
Yukitake M, Sueoka E, Sueoka-Aragane N, Sato A, Ohashi H, Yakushiji Y, Saito M, Osame M, Izumo S, Kuroda Y.	J Neurovirol. 14, 130-135	Significantly increased antibody response to heterogeneous nuclear ribonucleoproteins in cerebrospinal fluid of multiple sclerosis patients but not in patients with human T-lymphotropic virus type I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis.
Gohara R, Nishikawa S, Takasaki Y, Ando S	J. Biochem. 144, 675-684	Role of the aromatic residues in the near-amino terminal motif of vimentin in intermediate filament assembly in vitro.
Sato A, Sueoka-Aragane N, Saitoh J, Komiya K, Hisatomi T, Tomimasu R, Hayashi S, Sueoka E.	J. Cancer Res. Clin.Oncol. 134, 1191-1197	Establishment of a new method, transcription-reverse transcription concerted reaction, for detection of plasma hnRNP B1 mRNA, a biomarker of lung cancer.
Hidetaka Kawakita, Yuko Yoshimura, Kohshi Hamamoto, Hirokazu Seto, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Katsutoshi Inoue	J. Chromatogr. B 877, 347-350	Dynamic rejection of colloidal particles with generating dextran by enzymatic reaction
A. Syoufian and K. Nakashima	J. Colloid Interface Sci. 317, 507	Degradation of Methylene Blue in Aqueous Dispersion of Hollow Titania Photocatalyst: Study of Reaction Enhancement by Various Electron Scavengers
J. P. Mata, P. R. Majhi, O. Kubota, A. Khanal, K. Nakashima, and P. Bahadur	J. Colloid Interface Sci. 320, 275	Effect of Phenol on the Aggregation Characteristics of an Ethylene Oxide-Propylene Oxide Triblock Copolymer P65 in Aqueous Solution
Kida T., Motoori K., Abe H., Rahman M.M., Akiyama M., Nagano M.	J. Electrochem. Soc. 155, J274- J277	Self-Assembled Polycation/Hydroxide Multilayer Films
Aoyama T, Nakatsuka T, Koga S, Fujita T, Kumamoto E	J. Func. Diag. Spinal Cord 30, 25-31	Excitation of spinal motoneurons by activation of ATP receptors.
Yue H-Y, Fujita T, Liu T, Piao L-H, Jiang C-Y, Mizuta K, Tomohiro D, Nakatsuka T, Kumamoto E	J. Func. Diag. Spinal Cord 30, 32-41	Effects of galanin on excitatory synaptic transmission in adult rat substantia gelatinosa neurons.
Hiroki Nakatsukasa, Toshiki Uchiumi, Ken-ichi Kucho, Akihiro Suzuki, Shiro Higashi, and Mikiko Abe	J. Gen. Appl. Microbiol. 54, 107-118	Transposon mediation allows a symbiotic plasmid of <i>Rhizobium leguminosarum</i> bv. <i>trifolii</i> to become a symbiosis island in <i>Agrobacterium</i> and <i>Rhizobium</i>
R. Chand, K. Narimura, H. Kawakita, K. Ohto, T.Watari, K. Inoue	J. Haz. Mat. 163, 245-250	Grape waste as a biosorbent for removing Cr(VI) from aqueous solution

B.K. Biswas, J. Inoue, K. Inoue, N.K. Ghimire, H. Harada, K. Ohto, H. Kawakita	J. Hazardous Mat. 154, 1066-1074	Adsorptive removal of As(V) and As(III) from water by a Zr (IV)-loaded orange waste gel
Nakao I, Kanaji S, Ohta S, Matsushita H, Arima K, Yuyama N, Yamaya M, Nakayama K, Kubo H, Watanabe M, Sagara H, Sugiyama K, Tanaka H, Toda S, Hayashi H, Inoue H, Hoshino T, Shiraki A, Inoue M, Suzuki K, Aizawa H, Okinami S, Nagai H, Hasegawa M, Fukuda T, Green ED, Izuhara K.	J. Immunol. 180, 6262-6269	Identification of pendrin as a common mediator for mucus production in bronchial asthma and chronic obstructive pulmonary disease.
Hara H, Ishihara C, Takeuchi A, Xue L., Morris SW, Penninger JM, Yoshida H, Saito T.	J. Immunol. 181, 918-930	Cell Type-Specific Regulation of ITAM-Mediated NF- κ B Activation by the Adaptors, CARMA1 and CARD9
A.B. Othman, Y.H. Lee, K. Ohto, R. Abidi, Y. Kim, J. Vicens	J. Incl. Phenom. Macrocycl. Chem. 62, 187-191	Multi-calixarenes with multidentate coordination sites
C. Perez-Casas, Shofiur Rahman	J. Incl. Phenom. Macrocyclic Chem. 60, 173-185	Allosteric bindings of thiacalix[4]arene-based receptors with 1,3-alternate conformation having two different side arms
Ryuda, M., Tsuzuki, S., Tanimura, T., Tojo, S. and Hayakawa, Y.	J. Insect Physiol. 54, 1440-1445	A gene involved in the food preferences of larval <i>Drosophila melanogaster</i> .
Liu T, Fujita T, Nakatsuka T, Kumamoto E	J. Neurophysiol. 99, 1274-1284	Phospholipase A ₂ activation enhances inhibitory synaptic transmission in rat substantia gelatinosa neurons.
T. Hanamoto, E. Hashimoto, M. Miura, H. Furuno, and J. Inanaga	J. Org. Chem. 73. 4736-4739	Reactions of <i>N</i> -methyl-5-tributylstannyl-4-fluoro-1- <i>H</i> -pyrazole and its application to <i>N</i> -methyl-chromeno[2,3- <i>d</i>]pyrazol-9-one synthesis
T. Takamuku, Y. Tsutsumi, M. Matsugami, T. Yamaguchi	J. Phys. Chem. B 112, 13300-13309	Thermal Properties and Mixing State of Diol-Water Mixtures Studied by Calorimetry, Large-Angle X-ray Scattering, and NMR Relaxation
K. Fujii, Y. Soejima, Y. Kyoshoin, S. Fukuda, R. Kanzaki, Y. Umebayashi, T. Yamaguchi, S. Ishiguro, T. Takamuku	J. Phys. Chem. B 112, 4329-4336	Liquid Structure of Room-Temperature Ionic Liquid, 1-Ethyl-3-methylimidazolium Bis- (trifluoromethanesulfonyl)imide
Nakatsuka T, Fujita T, Inoue K, Kumamoto E	J. Physiol. 586, 2511-2522	Activation of GIRK channels in substantia gelatinosa neurones of the adult rat spinal cord: a possible involvement of somatostatin.
Gumjae Park, Hiroyoshi Nakamura, Y-S. Lee, MasakiYoshio	J. Power Sources 189, 602-606	The important role of additives for improved lithium ion battery safety
Deng Bohua, Hiroyoshi Nakamura, MasakiYoshio	J. Power Sources 180, 868-868	Capacity fading with oxygen loss for manganese spinels upon cycling at elevated temperature
Satomura T, Kawakami R, Sakuraba H, Ohshima T	Journal of Bioscience and Bioengineering 106, 16-21	A Novel Flavin Adenine Dinucleotide (FAD) Containing D-Lactate Dehydrogenase from the Thermoacidophilic Crenarchaeota <i>Sulfolobus tokodaii</i> strain 7: Purification, Characterization and Expression in <i>Escherichia coli</i>
Biswas, Biplob Kumar; Inoue, Jun-ichi; Inoue, Katsutoshi; Ghimire, Kedar Nath; Harada, Hiroyuki; Ohto, Keisuke; Kawakita, Hidetaka	Journal of Hazardous Materials 154, 1066-1074	Adsorptive removal of As(V) and As(III) from water by a Zr (IV)-loaded orange waste gel
L. Zhang, H. Noguchi, D. Li, T. Muta, X. Wang, M. Yoshio, I. Taniguchi	Journal of Power Sources 185, 534-541	Synthesis and electrochemistry of cubic rocksalt Li-Ni-Ti-O compounds in the phase diagram of LiNiO ₂ -LiTiO ₂ -Li[Li _{1/3} Ti _{2/3} O ₂].

J. Liu, D. Liu, Y. Yokoyama, S. Yusa, and K. Nakashima	Langmuir 25, 739	Physicochemical Properties of Micelles of Poly (styrene- <i>b</i> -[3-(methacryloylamino)propyl] trimethylammonium chloride- <i>b</i> -ethylene oxide) in Aqueous Solutions
T. Yanagita, S.Y. Han, Y. Hu, K. Nagao, H. Kitajima, S. Murakami	Lipids Health Dis. 7, 1-6	Taurine reduces the secretion of apolipoprotein B100 and lipids in HepG2 cells.
Kuwata, R., T. Yoshiga, M. Yoshida, E. Kondo	Microbes Infect. 10, 734-741	Mutualistic association of <i>Photobacterium</i> <i>asymbiotica</i> with Japanese heterorhabditid entomopathogenic nematodes
Maki Nagata, Ei-ichi Murakami, Yoshikazu Shimoda, Fuyuko Shimoda-Sasakura, Ken-ichi Kucho, Akihiro Suzuki, Mikiko Abe, Shiro Higashi and Toshiki Uchiumi	Molecular Plant-Microbe Interactions 21, 1175-1183	Expression of a Class 1 Hemoglobin Gene and Production of Nitric Oxide in Response to Symbiotic and Pathogenic Bacteria in <i>Lotus japonicus</i>
Nagayoshi H, Matsumoto A, Nishi R, Kawamoto T, Ichiba M, Matsuda T.	Mutat Res. 673, 74-77	Increased formation of gastric N(2)-ethylidene-2'-deoxyguanosine DNA adducts in aldehyde dehydrogenase-2 knockout mice treated with ethanol.
Yamasaki S, Ishikawa E, Sakuma M, Hara H, Ogata K, Saito T.	Nat. Immunol. 9, 1179-1188	C-type lectin Mincle is an ITAM-coupled activating receptor.
Chaitanya Raj Adhikari, Durga Parajuli, Katsutoshi Inoue, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Hiroyuki Harada	New Journal of Chemistry 32, 1634-1641	Recovery of precious metals by using chemically modified waste paper
I. Maeda, Y. Fukumoto, T. Nose, Y. Shimohigashi, T. Nezu, Y. Terada, H. Kodama, K. Kaibara, K. Okamoto	Peptide Science 2007 219-222	Structural Profiles for Coacervation of Elastin-derived Polypeptides
T. Naito, S. Miura, Y. Saito, T. Owaki, R. Hayashi, J. Taira, H. Kodama, M. Ueki, H. Sugimoto, F. Fukai	Peptide Science 2007 325-328	Antiadhesive Sites Present in the Fibronectin Type III-Like Repeats of Human Plasma Fibronectin
D. Sugiyama, Y. Hirakawa	Peptide Science 2008 253-256	Synthesis and Biological Activity of Dimeric Chemotactic Peptide Antagonist
M. Onai, D. Sugiyama	Peptide Science 2008 239-242	Synthesis and Priming Activities of Cyclic Peptides, Hymenamides
S. Imamura, T. Suga, J. Taira, S. Osada, H. Kodama	Peptide Science 2008 245-248	Synthesis and Biological Activity of Alamethicin Analogs Enhanced by Electrostatic Interaction
D. Sugiyama, M. Sato	Peptide Science 2008 249-252	Insight into Methionine Side-chain Recognition by the FPR Utilizing Sulfur Mimetics
S. Yokoyama, K. Kato, A. Koba, Y. Minami, K. Watanabe and F. Yagi	Peptides 29, 2110-2117	Purification, characterization, and sequencing of antimicrobial peptides, Cy-AMP1, Cy-AMP2, and Cy-AMP3, from the <i>Cycas</i> (<i>Cycas revoluta</i>) seeds
Matsumoto A, Kawamoto T, Mutoh F, Isse T, Oyama T, Kitagawa K, Nakayama KI, Ichiba M.	Pharmacogenet Genomics. 18, 847-852	Effects of 5-week ethanol feeding on the liver of aldehyde dehydrogenase 2 knockout mice.
I. Gallardo, G. Gurado, G. Prats, M. Takeshita	Physical Chemistry Chemical Physics 11, 1502-1507	Electrochemically triggered conversion between metacyclophan-1-ene and dihydropyrene molecular switching system
Akihiro Suzuki, Kenji Yamashita, Mami Ishihara, Ken-ichi Nakahara, Mikiko Abe, Ken-ichi Kucho, Toshiki Uchiumi, Shiro Higashi and Susumu Arima	Plant Biotechnology 25, 357-360	Enhanced symbiotic nitrogen fixation by <i>Lotus japonicus</i> containing an antisense β -1,3-glucanase gene

Honjo E, Shoyama Y, Tamada T, Shigematsu H, Hatanaka T, Kanaji S, Arima K, Ito Y, Izuhara K, Kuroki R.	Protein Expr. Purif. 60, 25-30	Expression of the extracellular region of the human interleukin-4 receptor α chain and interleukin-13 receptor α 1 chain by a silkworm-baculovirus system.
Durga Parajuli, Chaitanya R. Adhikari, Hidetaka Kawakita, Kumiko Kajiyama, Keisuke Ohto, Katsutoshi Inoue	React. Funct. Polym 68, 1194-1199	Reduction and accumulation of Au(III) by grape waste: A kinetic approach
D. Parajuli, C.R. Adhikari, H. Kawakita, K. Kajiyama, K. Ohto, K. Inoue	React. Funct. Polym. 68, 1194-1199	Reduction and accumulation of Au(III) by grape waste: A kinetic approach
Isobe K, Gohara R, Ueda T, Takasaki Y, Ando S	Res. Commun. Biochem. Cell Mol. Biol. 12, 137-156	Effects on mouse lamin A assembly in vitro of stepwise deletion of the head domain from the N-terminus.
N.Mitani, R.Matsumoto, T.Yoshioka, T.Kuniga:	Scientia Horticulturae 116, 452-455	Citrus hybrid seedlings reduce initial time to flower when grafted onto shiikuwasha rootstock
Durga Parajuli, Hidetaka Kawakita, Kumiko Kajiyama, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, and Katsutoshi Inoue	Sep. Sci. Technol 43, 2363-2374	Recovery of Gold from Hydrochloric Acid by using Lemon Peel Gel
D. Parajuli, H. Kawakita, K. Kajiyama, K. Ohto, H. Harada, K. Inoue	Sep. Sci. Technol 43, 2363-2374	Recovery of gold from hydrochloric acid by using lemon peel gel
Hidetaka Kawakita, RieYamauchi, Durga Parajuli, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, and Katsutoshi Inoue	Sep. Sci. Technol 43, 2375-2385	Recovery of Gold from Hydrochloric Acid by means of Selective Coagulation with Persimmon Extract
B.K. Biswas, K. Inoue, K.N. Ghimire, H. Kawakita, K. Ohto, H. Harada	Sep. Sci. Technol. 43, 2144-2165	Effect Removal of Arsenic with Lanthanum(III)- and Cerium(III)-loaded OrangeWaste Gels
H. Kawakita, R.Yamauchi, D. Parajuli, K. Ohto, H. Harada, K. Inou	Sep. Sci. Technol. 43, 2375-2385	Recovery of gold from hydrochloric acid by means of selective coagulation with persimmon extract
K.N. Ghimire, J. Inoue, K. Inoue, H. Kawakita, K. Ohto	Sep. Sci. Technol. 43, 362-375	Adsorptive Separation of Metal Ions onto Phosphorylated OrangeWaste
Biplob Kumar Biswas, Katsutoshi Inoue, Kedar Nath Ghimire, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada	Separation Science and Technology 43, 2144-2165	Effective Removal of Arsenic with Lanthanum(III)- and Cerium(III)-loaded OrangeWaste Gels
Naoya Hashiguchi, Masahiro Tanaka, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Katsutoshi Inoue,	Solv. Extr. Res. Develop., Jpn 15, 99-110	Solid Phase Extraction of Silver Ion by Impregnated Resin with p-tert-Butylcalix[4]arene Pyridyl Derivatives
K. Ohto, Y. Fujimoto, H. Furugou, H. Kawakita, H. Harada, K. Inoue	Solvent Extraction: Fundamentals to Industrial Applications, Proc.ISEC 2008, Int.Solv.Extr.Conf.	Solvent Extraction of Several Metal Ions with A Novel Tripodal Type of Carboxylic Acid
Md. Ataur Rahman, Osamu Ogawa, Juzo Oyamada, Tsugio Kitamura	Synthesis 3755-3760	Metal-Free Hydroarylation of Alkynes: A Very Convenient, Simple Procedure for Substituted Arylalkenes
M. Azumi, K. Ogawa, T. Fujita, M. Takeshita, R.Yoshida, T. Furumai, Y. Igarashi	Tetrahedron 64, 6420-6425	Bacilosarcins A and B, novel bioactive isocoumarins with unusual heterocyclic cores from the marine-derived bacterium Bacillus subtilis
T. Hanamoto, R. Anno, K. Yamada, K. Ryu, R. Maeda, K. Aoi, and H. Furuno	Tetrahedron. 65. 2757-2765	b-Trifluoromethyl-a-functionalized-vinyl sulfides as a potential synthetic intermediate

Yoshikazu Shimoda, Fuyuko Shimoda-Sasakura, Ken-ichi Kucho, Norihito Kanamori, Maki Nagata, Akihiro Suzuki, Mikiko Abe, Shiro Higashi and Toshiki Uchiumi	The Plant Journal 57, 254-263	Overexpression of class 1 plant hemoglobin genes enhances symbiotic nitrogen fixation activity between Mesorhizobium loti and Lotus japonicus
Ryuda, M., Shimada, K., Koyanagi, R., Azumi, K., Tanimura, T., Hayakawa, Y.	Zool. Sci. 25, 746-752	Analysis of hunger-driven gene expression in Drosophila melanogaster larval central nervous system.
島津倫太郎, 草野謙一郎, 倉富勇一郎, 井之口昭	喉頭 20, 86-92	慢性逆流性食道炎モデルラットにおける咽喉頭の形態学的変化
權藤寿喜, 武下泰三, 山崎文朗, 辻学, 古江増隆	西日本皮膚科 70, 261-264	脾癌に伴った皮下結節性脂肪壊死症の1例
内橋和芳, 青木茂久, 園田恵美子, 米満伸久, 船津丸貞幸, 井手口浩幸, 杉原甫, 佛淵孝夫, 戸田修二	ホルモンと臨床 56, 170-176	骨芽細胞とヒト骨髓脂肪組織の細胞間相互作用は骨髓のホメオスターシスに関与する
上村春子, 井上卓也, 平島徳幸, 三砂範幸, 成澤 寛	臨床皮膚科 62, 655-658	Mucinous carcinoma of the skin の1例
太田昭一郎, 東義則, 白石裕士, 野口保彦, 出原賢治	臨床病理 56, 980-985	オーダーメイド医療を目指したアレルギー疾患診断の確立ーSCCAの新規ELISAシステムの確立ー.
松本亮司・池松大亮・吉岡照高・山本雅史	園芸学研究 7, 481-489	抗リモニン抗血清を用いた酵素免疫測定法によるカンキツの機能性成分, リモニン配糖体の定量
川喜田英孝, 大渡啓介, 原田浩幸, 井上勝利, ドュルガバラジュリ, 山内理絵	化学工学論文集 34, 230-233	カキシブ液を用いた金の凝集・分離・回収
井上勝利, 西浦正紘, 川喜田英孝, 大渡啓介, 原田浩幸	化学工学論文集 34, 282-286	使用済み液晶パネルからのインジウムの回収
原田浩幸, 松下知広, 藤井正博, 井上勝利, 川喜田英孝, 大渡啓介, 天野佳正	化学工学論文集 35, 27-29	塔頭に小型沈殿部・分離遮蔽板を有した反応塔とサイクロンの組み合わせによる MAP 粒子の分離特性評価
井上潤一, Biplob Kumar Biswas, 川喜田英孝, 大渡啓介, 原田浩幸, 井上勝利	化学工学論文集 35, 30-35	ジルコニウムを担持させたみかん搾汁残渣およびペクチン酸によるリン酸イオンの吸着
吉岡照高・松本亮司・奥代直巳・山本雅史・國賀 武・山田彬雄・三谷宣仁・生山 巖・浅田謙介・池宮秀和・内原 茂・吉永勝一	果樹研究所研究報告 8, 15-23	カンキツ新品種‘麗紅’
大石明広, 原田浩幸, 河野泰訓, 志岐昌彦, 山本浩一, 速水祐一, 井上勝利, 川喜田英孝, 大渡啓介	海岸工学論文集 55, 1301-1305	有明海底質細胞外ポリマーの性状と底質安定化への効果
北嶋修司, 森本正敏	関西実験動物研究会会報 30, 16-20	凍結精子による遺伝子組換えウサギの系統保存
古賀寿記, 高原信二, 小松智, 平川信洋, 青柳孝彦, 北川範仁, 笠原貴紀, 可徳三博, 鶴田敏幸	九州・山口スポーツ医・科研究会誌 20, 128-134	左踵骨前方突起疲労骨折を呈し、骨接合術を施行した一症例
弥富雅信, 秀島聖尚, 小松智, 平川信洋, 青柳孝彦, 北川範仁, 笠原貴紀, 可徳三博, 鶴田敏幸	九州・山口スポーツ医・科研究会誌 20, 52-57	成長期野球肘の重症化をもたらす個体要因について
中野達也, 秀島聖尚, 小松智, 平川信洋, 青柳孝彦, 北川範仁, 笠原貴紀, 可徳三博, 鶴田敏幸	九州・山口スポーツ医・科研究会誌 20, 85-90	成長期野球競技者における腰痛の現状
辻尾祐志, 溝呂木敏弘, 桑原佐知, 西島和俊, 大野民生, 青山博昭, 田中慎	九州実験動物雑誌 24, 45-49	近交系での特性解析

辻尾祐志、溝呂木敏弘、西島和俊、桑原佐知、大野民生、青山博昭、田中慎	九州実験動物雑誌 24, 51-54	X 層厚生細胞の退行時形態の系統差
西島和俊	九州実験動物雑誌 24, 9-16	喉頭上皮における炭酸ガス受容体の検索
鶴田敏幸, 可徳三博, 青柳孝彦, 笠原貴紀, 北川範仁	日本手の外科学会雑誌 24, 1097-1102	上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する治療成績
西奈津子、山本修一、浜崎雄平	日本小児アレルギー学会誌 22, 245-252	気道上皮細胞におけるケモカイン産生を制御する因子
鶴田敏幸, 可徳三博, 青柳孝彦, 北川範仁, 道下竜馬	日本臨床スポーツ医学会誌 16, 250-257	若年スポーツ選手における膝蓋骨下極障害 治療成績とその病態に対する一考察

招待講演・特別講演		
発表者	会議等名	題目
穴井豊昭	Asia pacific region environmental Agriculture symposium	Metabolic engineeng of soybean seed oil quality
Akihiro Suzuki	第 4 回植物神経生物学国際シンポジウム	Conttroll of root nodulation by the R:FR ratio
Ann Hirsch, Akihiro Suzuki	第 4 回植物神経生物学国際シンポジウム	The importance of rhizobial attachment for successful legume nodulation and nitrogen fixation
Soejima H	Northeastern Asian Symposium on “Cancer Epigenetics”.	Regulation of imprinting in Beckwith-Wiedemann syndrome.
Soejima H	INTERNATIONAL SYMPOSIUM 'Decoding Epigenetic Code」	Different control mechanisms of two imprinted domains, KIP2/LIT1 and Murr1/U2af1-rs1.
副島 英伸、東元 健、八木 ひとみ	大阪大学蛋白研セミナー「インプリンティング疾患発症機序の解明と治療に向けて」	ベックウィズ・ヴィーデマン症候群のインプリンティング機序.
鯉川雅之		四核 Mn-Ni 錯体の構造と磁性
鯉川雅之		四核ダブルキューバン型遷移金属錯体の金属コア構造と磁性
武藤誠浩, 鯉川雅之, 山田泰教, 時井直		二つの配位サイトを有する架橋性多座配位子による環状三核錯体の合成と性質
竹下道範	近未来新素材研究会第8回講演会	光メモリー材料を志向したフォトクロミックシクロファン－1－エン類
Michinori Takeshita	New horizons of photochromism: From design of molecules to applications (Arras, France)	Synthesis and photochromic properties of [2.n]thiophenophan-1-enes
成田貴行, 大西勇, 鴫田昌之	田中豊一記念シンポジウム	毛細管内において天然多糖類水溶液から形成されるゲルの空間パターン

K. Ohto	The 4th Symposium on Separation Chemistry & Engineering	Novel Broom Carboxylic Acid Type of the Extractant with Size Discriminating Effect for Gallium Ion
高椋利幸	研究会「溶媒和の物理と化学」	フッ化アルコール水溶液がつくる溶媒和環境と相分離現象
高椋利幸	日本化学会第89回春季年会特別企画「非常態の水の機能と計測科学」	混合溶液がつくるマイクロな不均一性と溶媒和環境
海野雅司	大阪大学蛋白質研究所セミナー「蛋白質合成法の最近の進歩と生命科学」	分光学の立場から見た蛋白質合成法への期待－振動分光による光センサータンパク質の研
中本和樹, 長田聰史, 兒玉浩明	第20回若手研究者のためのセミナー	フルオロアルケンを有するC結合型糖アミノ酸ビルディングブロックの合成研究
花本猛士	F&F セミナー	フルオロアセチレン化合物の合成と反応
花本猛士	第32回フッ素化学討論会	フルオロアセチレン化合物の合成と反応

一般講演		
発表者	会議等名	題目
Fujita T, Nakatsuka T, Morimoto M, Kumamoto E	12th World Congress on Pain	PAR-1 activating peptides and proteinases enhance the spontaneous release of L-glutamate from nerve terminals in adult rat spinal dorsal horn neurons.
Nakatsuka T, Kosugi M, Fujita T, Kumamoto E	12th World Congress on Pain	Presynaptic TRPA1-mediated facilitation of excitatory synaptic transmission in the spinal dorsal horn.
Kumamoto E, Liu T, Fujita T, Yue H-Y, Hirakawa N, Nakatsuka T	12th World Congress on Pain	Facilitation by phospholipase A ₂ activation of inhibitory synaptic transmission in rat substantia gelatinosa neurons.
Shiraishi R, Fujise T, Kuroki T, Kakimoto T, Amemori S, Tsunada S, Iwakiri R, Fujimoto K	16th UEGW	Glutathione, antioxidant, affects colon carcinogenesis induced by long term feeding of beef tallow diet in rats pretreated with azoxymethane.
Shiraishi R, Fujise T, Kuroki T, Kakimoto T, Amemori S, Tsunada S, Iwakiri R, Yanagita T, Fujimoto K	16th UEGW	Enhanced colon carcinogenesis with high beef tallow diet in rats was attenuated by conjugated linoleic acid.
Daisuke Sugiyama, Satoshi Osada, Ryo Hayashi, Hiroshi Yamaguchi, Masoud Jelokhani-Niaraki, Ichiro Fujita and Hiroaki Kodama	17th Meeting of Methods in Protein Structure Analysis	Transmembrane Peptides are Useful Tools for Study of Membrane Proteins Function
中牟田亮一, 相信裕之, 和田将也, 松崎武経, 大石祐司, 岡美佳子, 竹鼻 真, 高崎洋三, 安藤祥司	2008 年日本化学会西日本大会	水晶体特異的蛋白質 filensin と phakinin がつくる中間径フィラメントの形態解析
山本晶子, 松永賢一郎, 河野 史, 河済博文, 高崎洋三, 安藤祥司	2008 年日本化学会西日本大会	プラナリア中間径フィラメント蛋白質による線維構造の形成
Naoki Fuchita, Saori Arita, Hiroyuki Motoshima and Keiichi Watanabe	2009 International Students Academic Presentation	Mutational analyses of the relationship between activity and local flexibility in the surface turn regions of subtilisin Carlsberg
Muto S. and Nagano Y.	2009 International Students Academic Presentation, Taiwan	Characterization of A.thaliana lipopolysaccharide-binding proteins (AtLBPs) in plant innate immune responses
Daisuke Sugiyama, Satoshi Osada, Ichiro Fujita, Yuhei Hamasaki and Hiroaki Kodama	22nd Annual Symposium of The Protein Society	Neutrophil Priming with Transmembrane Peptides Derived from Formyl Peptide Receptor Subtypes

Fujita T, Liu T, Aoyama T, Tomohiro D, Nakatsuka T, Kumamoto E	45th Japanese Peptide Symposium	Glutamatergic excitatory transmission in adult rat substantia gelatinosa neurons is enhanced more effectively by PAR-1 than PAR-2 and PAR-4 activating peptides.
Yue H-Y, Fujita T, Liu T, Piao L-H, Mizuta K, Nakatsuka T, Kumamoto E	45th Japanese Peptide Symposium	Action of galanin on synaptic transmission in substantia gelatinosa neurons of the adult rat spinal cord.
Jiang C-Y, Fujita T, Liu T, Yue H-Y, Piao L-H, Mizuta K, Nakatsuka T, Kumamoto E	46th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan	Enhancement by resiniferatoxin of glutamatergic spontaneous excitatory synaptic transmission in rat spinal dorsal horn neurons.
Hamajima H, Ozaki I, Iwane S, Xia H-J, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsuhashi S, Mizuta T	50th Anniversary Meeting of the International Association for the Study of the Liver (IASL)	Pivotal role of protein kinase C (PKC)- δ in the regulation of tumor suppressor programmed cell death 4 (PDCD4) in human hepatocellular carcinoma cells
Hamajima H, Ozaki I, Iwane S, Xia H-J, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsuhashi S, Mizuta T	50th Anniversary Meeting of the International Association for the Study of the Liver (IASL)	Pivotal role of protein kinase C (PKC)- δ in the regulation of tumor suppressor programmed cell death 4 (PDCD4) in human hepatocellular carcinoma cells.
Hamajima H, Ozaki I, Iwane S, Xia H-J, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsuhashi S, Mizuta T	50th Anniversary Meeting of the International Association for the Study of the Liver (IASL)	Pivotal role of protein kinase C (PKC)- δ in the regulation of tumor suppressor programmed cell death 4 (PDCD4) in human hepatocellular carcinoma cells.
Yamamoto S, Ichishima K, Ehara T	52nd Annual Meeting of the Biophysical Society & 16th IUPAB Intl Congress	α 1-adrenergic Receptor-mediated Depletion Of Phosphatidylinositol 4,5-bisphosphate Inhibits Activation Of Volume-regulated Chloride Currents In Mouse Ventricular Myocyte
Tanaka R, Okumura E, Yoshiga T, Kondo E.	5th International Congress of Nematology	Survival strategy of <i>Caenorhabditis japonica</i> dauer juveniles
Inoue T, Sada A, Misago N, Narisawa Y	5 th Joint meeting of SSSR and SCUR	Myofibroma of the skin mimicking a piloleiomyoma: a case report
Takashi Hisatomi, Rika Tomimasu, Naoko Aragane, Akemi Sato, Kazutoshi Komiya, Eisaburo Sueoka.	67th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association	A new therapeutic approach for adult T cell leukemia/lymphoma by inhibition of DNA repair system.
Kazutoshi Komiya, Naoko Aragane, Akemi Satoh, Rika Tomimasu, Takashi Eisaburo Sueoka.	67th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association	Myc target gene, mina53, a role in lung carcinogenesis
Yoshida H.	6th International congress on Autoimmunity	Amelioration of Human Lupus-like Phenotypes in MRL/LPR mice by Over Expression of IL-27Ra(W SX-1)
Miyazaki Y, Nakashima H, Yoshida H.	7th joint conference of the international cytokine society and the international society for interferon and cytokine research	Therapeutic potential of IL-27 for inflammatory and autoimmune diseases
Kai K, Kitajima Y, Hashiguchi K, Tokunaga O, Miyazaki K	AACR annual meeting 2008	Protein ratio of OPRT/TS or OPRT/(TS+DPD) evaluated by quantitative double fluorescence immunohistochemistry is a useful tool to predict drug efficacy of S-1 for gastric cancer.
Soejima H, Yakabe S, Yatsuki H, Zhao W, Higashimoto K, Joh K, Kudo S, Miyazaki K, Mukai T	AACR annual meeting 2008	MeCP2 represses gene expression by a methylation-independent or an indirect mechanism.
Hisatomi T, Tomimasu R, Aragane N, Sato A, Komiya K, Okamoto K, Sueoka E,	America Association for Cancer Research Annual Meeting 2008	NK314 as a new therapeutic agent of adult T cell leukemia

Naoko Aragane, Kazue Imai, Kazutoshi Komiya, Akemi Sato, Rika Tomimasu, Takashi Hisatomi, Toru Sakuragi, Masahiro Mitsuoka, Shinichiro Hayashi, Kei Nakachi, Eisaburo Sueoka.	American Association for Cancer Research Annual Meeting 2008	Exon 19 of EGFR mutation in relation to the CA-repeat polymorphism in intron 1.
Keita Kai, Yoshihiko Kitajima, Kazuyoshi Hashiguchi, Osamu Tokunaga, Kohji Miyazaki	American association for Cancer Reserch Annual meeting 2008	Protein ratio of OPRT/TS or OPRT/ (TS+DPD) evaluated by quantitative double fluorescence immunohistochemistry is a useful tool to predict drug efficacy of S-1 for gastric cancer.
Tada Y, Koarada S, Ohta A, Nagasawa K.	American College of Rheumatology Scientific Meeting (米国リウマチ学会)	Toll-like receptor homolog RP105 attenuates the development of collagen-induced arthritis.
Shimomura Y, Hirata A, Ishikawa S, Okinami S	ARVO 2008 annual meeting	Changes in the choriocapillaris after intravitreal injection of bevacizumab
Ishikawa S, Nakabayashi J, Hirata A, Shimomura Y, Iwakiri R, Okinami S	ARVO 2008 annual meeting	Neuroprotective effects of small interfering RNA targeted against caspase 3 or caspase 9 on rat retinal damage induced by transient ischemia injury.
Osamu Tokunaga	BIT Life Sciences' 1st Annual World Cancer Congress	CD105 expression in cancer angiogenesis and inhibition of primary and metastatic cancer lesions by anti-CD105 antibody in xenograft model
杉山大輔, 長田聡史, 浜崎雄平, 藤田一郎, 兒玉浩明	BMB2008	GPCR 由来膜貫通ペプチドアナログの合成と好中球活性化
川上竜巳, 櫻庭春彦, 大島敏久	BMB2008 (第31回日本分子生物学会年会, 第81回日本生化学会大会 合同大会)	超好熱アーキア Thermococcus profundus の色素依存性 L-プロリン脱水素酵素複合体の機能
東麻梨江, 櫻庭春彦, 大島敏久, 川上竜巳	BMB2008 (第31回日本分子生物学会年会, 第81回日本生化学会大会 合同大会)	超好熱アーキアの色素依存性 L-プロリン脱水素酵素複合体のプロリン脱水素酵素サブユニットの機能解析
浜島弘史, 岩根紳治, 張浩, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 藤本一真, 水田敏彦, 尾崎岩太	BMB2008 (第31回日本分子生物学会年会, 第81回日本生化学会大会 合同大会)	PKCδによる Programed cell death 4 (PDCD4)のタンパク質レベルでの調節
岩根紳治, 浜島弘史, 張浩, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 水田敏彦, 藤本一真, 尾崎岩太	BMB2008 (第31回日本分子生物学会年会, 第81回日本生化学会大会 合同大会)	インテグリンによるインターフェロン/JAK-STAT Pathway の制御
尾崎岩太, 浜島弘史, 岩根紳治, 張浩, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 水田敏彦	BMB2008 (第31回日本分子生物学会年会, 第81回日本生化学会大会 合同大会)	インテグリン過剰発現系を用いた細胞接着シグナル解析: Smad シグナルに対する修飾機構
Xia J, Matsuhashi S, Zhang H, Ide Y, Hamajima H, Mizuta T, Fujimoto K, Ozaki I	BMB2008 (第31回日本分子生物学会年会, 第81回日本生化学会大会 合同大会)	Role of PKC in the inhibition of NF-kappaB activation by menatetrenone, a vitamin K2 analogue in human hepatocellular carcinoma cells
淵田直樹, 有田沙織, 熊井洋平, 本島浩之, 渡邊啓一	BMB2008 (第31回日本分子生物学会年会, 第81回日本生化学会大会 合同大会)	Subtilisin Carlsberg のターン構造中におけるプロリンのグリシンへの置換及びグリシンループの挿入が活性と安定性に及ぼす影響
岡田貴裕, 井原秀之, 伊東利津, 中の三弥子, 谷口直之, 池田義孝	BMB2008: 第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会合同大会	beta-1,4-N-Acetylglucosaminyltransferase III 遺伝子導入による昆虫細胞のアスパラギン結合型糖鎖の生合成機構の改変

井原秀之、伊東利津、岡田貴裕、谷口直之、池田義孝	BMB2008: 第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会合同大会	Functional analysis of SH3 domain on alpha1,6-fucosyltransferase, FUT8.
Matsumoto A, Kawamoto T, Isse T, Oyama T, Oishi H, Ichiba M	Ehrlich II – 2nd World Conference on Magic Bullets	The Effects of Single-Dose Ethanol Administration to Aldehyde Dehydrogenase 2 Knock-Out Mice: Down-Regulation of Expression of Cytochrome p450 2E1 mRNA and Amelioration of Oxidative Stress in Liver Tissue.
K. Fujii, T. Takamuku, S. Fukuda, R. Kanzaki, M. Kanakubo, Y. Kameda, Y. Umebayashi, S. Ishiguro	EUCHEM 2008 Conference on Molten Salts and Ionic Liquids	Alkyl-chain Dependence on Meso- and Micro-scale Liquid Structure of Imidazolium Based Room Temperature Ionic Liquid
K. Inoue, D. Parajuli, K. Khunathai, H. Kawakita, K. Ohto, M. Funaoka, S. Alam	Hydrometallurgy	ADSORPTIVE SEPARATION, CONCENTRATION AND PURIFICATION OF PRECIOUS METALS USING LIGNOPHENOL COMPOUNDS: NOVEL ENVIRONMENTALLY BENIGN MATERIALS PREPARED FROM WOODWASTES
K. Inoue, M. Nishiura, H. Kawakita, K. Ohto, H. Harada	isec 2008	Recovery of indium spent flat-panel display with solvent-impregnated resins
H. Kawakita, H. Seto, K. Ohto, H. Harada, K. Inoue	isec2008	Novel dextran gel formation by enzymatic reaction to use for solid-phase extraction
Masahide Kawamoto, Nobutaka Shimizu, Seiki Baba, Kunio Hirata, Koutaro Ishiji, Kazushi Sumitani, Toshihiro Okajima, Hiroyuki Motoshima, Keiichi Watanabe, Takashi Kumasaka and Masaki Yamamoto	IUCr08208, XXI Congress and General Assembly of the International Union of Crystallography	Studies for S-SAD method using various wavelength at SPring-8 and SAGA-LS
Nagomi Kurebayashi, Takeshi Suzuki, Hiroto Nishizawa, Akihito Chugun, Takashi Murayama, Takao Shioya, Hiroyuki Daida, Takashi Sakurai, Sachio Morimoto, Yuji Nakazato.	Joint meeting of the Biophysical Society 52nd annual meeting & 16th international biophysics congress.	Mechanism of Arrhythmogenesis in DCM Model Mice Associated with Cardiac Troponin T Mutation.
M. Takeshita, T. Miyazaki, M. Hayashi	MACRO 2008	Photoreversible Supramolecular Polymer Formation Having Diarylethene Photoswitch
Yuko Inoue, Toshio Torikai, Takanori Watari, Mitsunori Yada	Microprocesses and Nanotechnology	Titanium Nanotube and Nanofiber Films Formed on a Titanium Metal Plate
川喜田英孝	NEDO における研究成果の異分野適用可能性等に関する調査	バイオマス廃棄物を有効利用した貴金属の回収
川喜田英孝	NEDO 産業技術セミナー in 九州 2008	バイオマス廃棄物を有効利用した貴金属の回収技術の開発
H. Noguchi, S. Ennouji, K. Kawaguchi and K. Isono	Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid-State Science	Comparative study for electrochemical lithiation of ramsdellite like MnO ₂ and b-MnO ₂
Tomohiro D, Mizuta K, Fujita T, Nishikubo Y, Masuko S, Nakatsuka T, Kumamoto E	Society for Neuroscience 38th Annual Meeting	Capsaicin and its analogs inhibit compound action potentials in frog sciatic nerves.
Fujita T, Nakatsuka T, Liu T, Aoyama T, Kumamoto E	Society for Neuroscience 38th Annual Meeting	L-Glutamate release from nerve terminals in the adult rat spinal dorsal horn is more effectively increased by PAR-1 than PAR-2 and PAR-4 agonists.
Yue H-Y, Fujita T, Liu T, Piao L-H, Jiang C-Y, Mizuta K, Kawasaki Y, Nakatsuka T, Kumamoto E	Society for Neuroscience 38th Annual Meeting	Pre- and postsynaptic modulation by galanin of glutamatergic excitatory synaptic transmission in adult rat substantia gelatinosa neurons.

Jiang C-Y, Fujita T, Liu T, Yue H-Y, Piao L-H, Mizuta K, Takeda D, Nakatsuka T, Kumamoto E	Society for Neuroscience 38th Annual Meeting	Resiniferatoxin enhances excitatory synaptic transmission in adult rat spinal dorsal horn neurons.
Liu T, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Jiang C-Y, Nakatsuka T, Kumamoto E	Society for Neuroscience 38th Annual Meeting	Cellular mechanisms for the phospholipase A ₂ -mediated enhancement of inhibitory synaptic transmission in adult rat substantia gelatinosa neurons.
Nakatsuka T, Fujita T, Aoyama T, Taniguchi W, Kawasaki Y, Kumamoto E	Society for Neuroscience 38th Annual Meeting	Cellular mechanism of spinal cord stimulation-evoked analgesia: a possible involvement of somatostatin.
Soejima H, Kugoh H, Yatsuki H, Fukui C, Higashimoto K, Joh K, Oshimura M, Mukai T	The 2008 EAUHGS Symposium & the 8th EAUHGS Annual Meeting	Imprinted non-coding RNA LIT1 is required for paternal repression of genes within human KIP2/LIT1 imprinted domain.
Takafumi Shimazaki, Masamori Shigematsu, Iwao Noda, Hiroshi Miyamoto, Yutaka Yonekura, Motoki Sonohata, Masaaki Mawatari, Takao Hotokebuchi	The 21st Annual congress of the inter national society for technology in arthroplasty	Serum silver level monitoring in rats implanted thermal sprayed silver-containing hydroxyapatite.
C.Yamamoto, K. Ohto, H. Kawakita, H. Harada, K. Inoue	The 21th International Symposium on Chemical Engineering	Preparation of silver ion selective electrode with allyl type of broom compound as electrode de
H. Nakagawa, H. Kawakita, K. Ohto, H. Harada, K. Inoue	The 21th International Symposium on Chemical Engineering	Separation and removal of chromium(VI) by adsorption prepared from persimmon peel
B.B. Adhikari, M. Kanemitsu, K. Ohto, H. Kawakita, H. Harada, K. Inoue	The 21th International Symposium on Chemical Engineering	Adsorption of lead ion on vinylcalix[4]arene tetracarboxylic acid type of resin
Yuko Yoshimura, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Katsutoshi Inoue	The 21th International Symposium on Chemical Engineering	Polymerization of functional phenol by horseradish peroxidase
Hirokazu Seto, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Katsutoshi Inoue	The 21th International Symposium on Chemical Engineering	Preparation of bioreactor immobilized pyranose oxidase on filter membrane
M. Matsueda, H. Kawakita, K. Ohto, H. Harada, K. Inoue	The 21th International Symposium on Chemical Engineering	Development of chemical modified lignophenol gels and recovery of precious metals
Hamajima H, Ozaki I, Zhang H, Ide Y, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsuhashi S, Mizuta T	The 28th Sapporo Cancer Seminar International Symposium	Modulation of TGF- β 1-induced Smad signaling by ECM receptor β 1-integrin
<u>lizasa E.</u> and Nagano Y.	The 2nd Daegu University-Saga University Joint Symposium	Expression of LRR-RLK in Yeast for a Ligand Fishing
<u>Muto Y.</u> and Nagano Y.	The 2nd Daegu University-Saga University Joint Symposium	Characterization of Arabidopsis thaliana Lipopolysaccharide-Binding Proteins (AtLBPs) in Plant Innate Immune Responses
Yuko Yoshimura, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, and Katsutoshi Inoue	The 2nd Daegu University-Saga University Joint Symposium	Polymerization of Functional Phenol by Horseradish Peroxidase
M. Matsueda, H. Kawakita, K. Ohto, H. Harada, K. Inoue	The 2nd Daegu University-Saga University Joint Symposium	Development of Chemically Modified Lignophenol Gels and Recovery of Precious Metal

AkinaYoshizawa, Shofiur Rahman and TakehikoYamato	The 2nd Daegu University-Saga University Joint Symposium	Synthesis and anion recognition properties of urea and thiourea based on thiacalix[4]arene derivatives
C.Yamamoto, H. Fugugou, K. Ohto, H. Kawakita, H. Harada, K. Inoue	The 2nd Daegu University-Saga University Joint Symposium, 1108A Institute of Computer & Communication, Daegu University	Silver Extraction by Using Allyl Type of Tripodal Broom Molecule and Preparation of Silver Ion Selective Electrode
Naoki Fuchita, Saori Arita, Hiroyuki Motoshima and Keiichi Watanabe	the 2nd Joint Symposium of Daegu University and Saga University	Activity and stability of subtilisin Carlsberg mutants with increased flexibility at turn regions
Yue H-Y, Fujita T, Liu T, Piao L-H, Aoyama T, Mizuta K, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 30th Annual Meeting of the Japanese Association for the Study of Pain	Pre- and postsynaptic effect of galanin on excitatory synaptic transmission in rat spinal dorsal horn neurons.
Liu T, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Mizuta K, Aoyama T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 30th Annual Meeting of the Japanese Association for the Study of Pain	Mechanisms for inhibitory synaptic transmission enhancement by phospholipase A ₂ activation in the rat substantia gelatinosa.
Nakatsuka T, Fujita T, Aoyama T, Kumamoto E	The 30th Annual Meeting of the Japanese Association for the Study of Pain	Cellular mechanism for spinal cord electrical stimulation-induced analgesia.
Fujita T, Liu T, Aoyama T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 31st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	PAR-1 activating proteases as well as peptides presynaptically enhance excitatory transmission in rat substantia gelatinosa neurons.
Tomohiro D, Mizuta K, Fujita T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 31st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Capsaicin and its analogs inhibit compound action potentials in frog sciatic nerves.
Liu T, Fujita T, Yue H-Y, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 31st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Mechanisms for the enhancement of inhibitory transmission by phospholipase A ₂ activation in the spinal dorsal horn.
Piao L-H, Jiang C-Y, Fujita T, Liu T, Yue H-Y, Mizuta K, Aoyama T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 31st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Lidocaine activates TRP channels in substantia gelatinosa neurons of the rat spinal cord.
Yue H-Y, Fujita T, Liu T, Jiang C-Y, Mizuta K, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 31st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Effects of galanin on excitatory synaptic transmission in rat substantia gelatinosa neurons.
Nakatsuka T, Fujita T, Aoyama T, Taniguchi W, Kumamoto E	The 31st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Activation of GIRK channels in the spinal dorsal horn: a possible involvement of endogenous somatostatin.
Aoyama T, Nakatsuka T, Fujita T, Kumamoto E	The 31st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Facilitation of excitatory synaptic transmission through activation of purinergic receptors in spinal motoneurons.
Fujita T, Liu T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 3rd Asian Pain Symposium	L- Glutamate release from nerve terminals is enhanced by PAR-1 activation in the adult rat spinal dorsal horn.
Tomohiro D, Mizuta K, Fujita T, Nishikubo Y, Liu T, Yue H-Y, Piao L-H, Jiang C-Y, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 3rd Asian Pain Symposium	Inhibitory actions of capsaicin and its analogs on compound action potentials in frog sciatic nerves.

Nakatsuka T, Kosugi M, Fujita T, Aoyama T, Kumamoto E	The 3rd Asian Pain Symposium	TRPA1 channel-mediated enhancement of excitatory synaptic transmission in the spinal dorsal horn.
Piao L-H, Koga A, Fujita T, Liu T, Yue H-Y, Jiang C-Y, Mizuta K, Aoyama T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 3rd Asian Pain Symposium	Inhibition by tramadol of excitatory synaptic transmission in rat spinal dorsal horn neurons through μ -opioid receptor activation but not monoamine uptake inhibition.
Liu T, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Jiang C-Y, Mizuta K, Aoyama T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 3rd Asian Pain Symposium	Mechanisms for phospholipase A ₂ -mediated enhancement of inhibitory transmission in rat substantia gelatinosa neurons.
Jiang C-Y, Fujita T, Liu T, Yue H-Y, Piao L-H, Mizuta K, Aoyama T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 3rd Asian Pain Symposium	Effect of resiniferatoxin on excitatory synaptic transmission in adult rat substantia gelatinosa neurons.
Yue H-Y, Fujita T, Liu T, Piao L-H, Jiang C-Y, Mizuta K, Aoyama T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 3rd Asian Pain Symposium	Galanin pre- and postsynaptically modulates excitatory synaptic transmission in rat substantia gelatinosa neurons.
Nakatsuka T	The 3rd International Conference of Neurons & Brain Diseases	TRPA1 channel-mediated facilitation of excitatory synaptic transmission in the spinal dorsal horn.
Arjun Paudel, Jian-yong Hu, Takehiko Yamato	The 3rd Joint Symposium of Saga University and Daegu University	Synthesis and structural properties of novel polycondensed aromatic compounds with double-helicene structure derived from 4,9-bis(arylethenyl)pyrenes
Noguchi C., Iizasa E. and Nagano Y.	The 3rd Saga University-Daegu University Joint Seminar	Expression of plant receptor kinases in yeast
Tsugio Kitamura, Juzo Oyamada, Kotaro Tatemoto	The 3rd Saga University-Daegu University Joint Seminar	Effect of Phosphine Ligands on Hydroarylation of Ethyl Propiolate. Direct Synthesis of Arylbutadienes
Tomohiro D, Mizuta K, Fujita T, Nishikubo Y, Liu T, Yue H-Y, Piao L-H, Jiang C-Y, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 85th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Inhibition by capsaicin and its related substances of compound action potentials in frog sciatic nerves.
Aoyama T, Nakatsuka T, Koga S, Fujita T, Kumamoto E	The 85th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Direct excitation of rat spinal motoneurons by activation of P2X and P2Y receptors.
Fujita T, Liu T, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 85th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	PAR-1 activating peptides and proteinases enhance glutamatergic excitatory transmission in adult rat spinal dorsal horn neurons.
Piao L-H, Koga A, Fujita T, Liu T, Yue H-Y, Jiang C-Y, Mizuta K, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 85th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Tramadol inhibits glutamatergic excitatory synaptic transmission in rat spinal dorsal horn neurons by activating μ -opioid receptors without monoamine uptake inhibition.
Liu T, Fujita T, Yue H-Y, Piao L-H, Jiang C-Y, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 85th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Melittin-induced enhancement of GABAergic but not glycinergic inhibitory transmission in rat spinal dorsal horn neurons is mediated by acetylcholine and norepinephrine.
Yue H-Y, Fujita T, Liu T, Piao L-H, Jiang C-Y, Mizuta K, Nakatsuka T, Kumamoto E	The 85th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	Galanin modulates excitatory synaptic transmission in rat substantia gelatinosa neurons.

Nakatsuka T, Fujita T, Aoyama T, Kumamoto E	The 85th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan	The activation of GIRK channel by endogenously-released somatostatin in substantia gelatinosa neurons of the adult rat spinal cord.
Shimano Y, Hara H, Yoshida H.	The 8th Awaji International forum on Infection and Immunigiy	Role of CARD9 in anti-protozoan defense
Tsugio Kitamura, Juzo Oyamada	The First International Symposium on Process Chemistry	Effect of Ligands on Pd-Catalyzed Hydroarylation of Ethyl Propiolate
Ishihara K, Yan DH	The Joint Biophysical Society 52nd Annual Meeting and 16th International Biophysics Congress	Low-affinity spermine block of strong inward rectifier Kir2 channels: role of cytoplasmic pore region
Tsugio Kitamura, Takuya Hashimoto, Soichi Kobayashi, Naomi Iguchi, Juzo Oyamada	Third International Conference on Advanced Organic Synthesis Directed toward the Ultimate Efficiency and Practicability	Direct Functionalization of Polystyrenes Using Transition Metal Catalysts
西岡憲一	遺伝情報 DECODE・冬のワークショップ	ASH1 ヒストンメチル化酵素による Hox 遺伝子群発現パターンの制御メカニズム
吉田裕樹	インターロイキン 27 の免疫抑制作用：自己免疫疾患への治療応用	第 36 回日本臨床免疫学会総会
Sueoka E, Sueoka-Aragane N.	韓国がん学会 (教育講演)	DNA repair a molecular target of cancer prevention and treatment
Sueoka E, Sueoka-Aragane N.	韓国がん学会 (シンポジウム)	hnRNP B1;a key modulator of DNA repair in carcinogenesis
Hiroki Kodama, Daigo Ito, Naoko Higashi, Masaaki Chiwa, Kyoichi Ohtsuki, Tohru Miyajima	IAP2008	Characteristic Comparison of Fulvic acid extracted from mountain stream in different forest forms.
M. M. Yee, T. Miyajima, H. Kodama, and N. Takisawa	IAP2008	Study of Ionic surfactants Binding to Humic Acid and Fulvic Acid by Dynamic Light Scattering and Potentiometric Titration
K.Tsuda, S. Aso, H. Kodama, K. Yonebayashi, N. Fujitake	IHSS	Comparison of ¹³ C NMR spectra of Fulvic acids from neighboring two clear water lakes in Japan.
兒玉 宏樹、宇田川洋、伊藤 大吾、蒲池将士、宮島 徹	JHSS	伊万里湾及び有明海における海水中のコロイド有機成分の構造特性
関幸、長尾誠也、兒玉宏樹、米林甲陽、宮島徹、中塚武、藤嶽暢秀	JHSS	土壌、堆積物、および溶存腐植物質の水素同位対比
兒玉 宏樹、伊藤 大吾、宮島 徹#	海環境と生物および沿岸環境修復技術に関するシンポジウム	筑後川水中フルボ酸の構造特性と Fe ³⁺ 錯生成特性
兒玉 宏樹、伊藤 大吾、東 直子、智和正明、大槻 恭一、宮島 徹	海環境と生物および沿岸環境修復技術に関するシンポジウム	針葉樹林及び広葉樹林渓流水からのフルボ酸の特性比較
荒金尚子、今井一枝、小宮一利、佐藤明美、久富崇、林真一郎、中地敬、末岡榮三朗、	がん予防大会 2008 福岡	肺癌における EGF 受容体の遺伝子多型と変異発生との関連

久富崇, 富樹りか, 荒金尚子, 佐藤明美, 小宮一利, 岡本一也, 末岡榮三朗	第 157 回福岡血液懇話会	DNA 修復阻害を標的とした ATL の治療法の開発の試み
平野勝紹, Sitthinan Arayaveerasid, 関清彦, 光富勝	第 15 回日本生物工学会九州支部熊本大会	「Aspergillus fumigatus 由来 family75 キトサナーゼのキトヘキサオースに対する作用」
島ノ江恭弘, 藤代絵里子, 平野勝紹, 関清彦, 光富勝	第 15 回日本生物工学会九州支部熊本大会	「Bacillus No.7-M 由来 family 8 キトサナーゼの大腸菌による発現」
橋口和義, 北島吉彦, 甲斐敬太, 平木将紹, 中村淳, 中房祐司, 徳永蔵, 宮崎耕治	第 19 回日本消化器癌発生学会	Quantitative double fluorescence IHC (qDFIHC)による胃癌術後化学療法の適応診断
島津倫太郎, 草野謙一郎, 倉富勇一郎, 井之口昭	第 20 回日本喉頭科学会総会学術講演会	シンポジウム2 胃酸逆流による慢性逆流による咽喉頭症状の現状と病態生理ー慢性逆流性食道炎モデルラットにおける咽喉頭の形態学的変化
岩崎純也, 大久保貴史, 関清彦, 徳安健, 光富勝	第 22 回キチン・キトサンシンポジウム	「キトサナーゼの大腸菌での分泌発現」
嶋崎貴文, 米倉豊, 安藤嘉基, 野田岩男, 宮本比呂志, 馬渡正明, 佛淵孝夫	第 23 回 日本整形外科学会基礎学術集会	抗菌生体材料の開発ーリアルタイム PCR による抗菌活性の定量化ー
島津倫太郎, 草野謙一郎, 倉富勇一郎, 井之口昭	第 60 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会	胃酸逆流による下気道の形態学的変化ーGERD モデルラットを用いた検討ー
久富崇, 富樹りか, 荒金尚子, 佐藤明美, 小宮一利, 岡本一也, 末岡榮三朗	第 67 回日本癌学会	DNA 修復阻害を標的とした ATL の新たな治療法開発の試み
小宮一利, 荒金尚子, 佐藤明美, 富樹りか, 久富崇, 林真一郎, 常岡誠, 末岡榮三朗	第 67 回日本癌学会	Myc標的遺伝子 <i>mina53</i> の肺発がんにおける役割
橋口和義, 北島吉彦, 甲斐敬太, 平木将紹, 中村淳, 神谷尚彦, 徳永蔵, 宮崎耕治	第 67 回日本癌学会学術集会	蛍光二重免疫染色法(qDFIHC)による胃癌化学療法の適応診断
末岡榮三朗, 佐藤明美, 中村秀明, 檜山桂子, 荒金尚子, 久富崇, 谷本圭司	第 6 回がんとハイポキシア研究会	トランスジェニックマウスを用いた HIF-1 α による腫瘍原性の解析
北島吉彦, 甲斐敬太, 橋口和義, 田中雅之, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治	第 80 回日本胃癌学会総会	Quantitative double fluorescence IHC (qDFIHC)による胃癌術後化学療法の適応診断
石原 圭子, Yan Ding-Hong, 額原 嗣尚	第 85 回日本生理学会大会	pH-dependent gating of Kir2.1 inward rectifier potassium channel
甲斐敬太, 草野謙一郎, 徳永蔵	第 98 回日本病理学会総会	アミロイド様変化を伴う胃弾性線維腫の一例と、背部弾性線維腫 5 例の光顕、電顕および免疫組織化学的検討
山本 信太郎	トランスポーターワークショップ IN 福岡	マウス心室筋における細胞容積調節性アニオンチャネルのイノシトールリン脂質による調節

塩谷 孝夫	トランスポーターワークシ ョップ IN 福岡	トランスポーター研究のためのマウス心筋細胞の簡便な単離法
渡辺啓史、秀島瑠満子、夏正俊、坪倉康 隆、佐藤修正、山中直樹、石本政男、田畑 哲也、穴井豊昭、原田九也	日本育種学会台 114 回講 演会	ダイス開花期関連遺伝子座 FT3 のマップベースクローニング
松本茜子、原めぐみ、松本明子、大石浩 隆、市場正良	日本産業衛生学会第 41 回生物学的モニタリング・ バイオマーカー研究会	タバコ煙の生物学的モニタリング
Kawano H, Masuko S, Li M-Z	日本解剖学会総会	Collateral projections from the median preoptic nucleus to the subfornical organ and paraventricular hypothalamic nucleus
松本明子、松本茜子、大石浩隆、市場正 良、原めぐみ	日本産業衛生学会九州地 方会	喫煙・受動喫煙量のバイオリジカルモニタリング
Kawano H, Masuko S, Li M-Z	日本神経科学学会	Efferent fibers from the subfornical organ make synaptic contacts on median preoptic neurons projecting to the paraventricular hypothalamic nucleus
Li M-Z, Murata Y, Kawano H, Masuko S	日本神経科学学会	ラット脊髄終系遠位部における免疫組織化学的細胞構築
田中雄大、大渡啓介、川喜田英孝、井上 勝利	化学工学会第40回秋季 大会	有機分子を多点認識するカリックス [4] アレーン誘導体の調製
大渡啓介、古郷宏明、川喜田英孝、原田 浩幸、井上勝利	化学工学会第40回秋季 大会	硫黄含有ホウキ型分子による貴金属の抽出
大渡啓介、橋口直也、川喜田英孝、原田 浩幸、井上勝利	化学工学会第40回秋季 大会	メチレン架橋型カリックス [4] アレーンピリジル樹脂による銀イオ ンの吸着
瀬戸弘一、川喜田英孝、大渡啓介、井上 勝利	化学工学会第74年会	固定化酵素バイオリクターを利用した dextran 誘導体の合成
瀬戸弘一、増田圭吾、川喜田英孝、	化学工学会第74年会	高密度に carbonyl 基を導入した keto-dextran のレオロジー
Hirokazu Seto,Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, and Katsutoshi Inoue	化学工学会第74年会	Enzymatic Synthesis of Keto-sugar Using Pyranose-2-oxidase-immobilized Membrane Bioreactor
阿部稔、川喜田英孝、大渡啓介、井上勝 利	化学工学会第74年会	ミカンジュースカスを用いた金の吸着・回収
才原孝一、井上勝利、川喜田英孝、大渡 啓介、井上潤一	化学工学会第74年会	ナトリウム塩型ミカンジュースカス吸着剤の金属イオン吸着特性
阿部稔、川喜田英孝、大渡啓介、井上勝 利	化学工学会第74年会	真空ポンプ油による金の溶媒抽出
北村二雄	技術情報協会セミナー	ヨウ素化合物に関する研究開発とその動向
塩谷 孝夫、頼原 嗣尚	筋生理の集い	心筋カルシウムシグナリングにおける Na/Ca exchanger と PMCA の相互作用
長崎俊弘、河野みゆき、三好祐輔、山田泰 教、鯉川雅之、時井直	九州錯体化学懇談会創設 40周年記念シンポジウム	芳香族ジイミンを含む光学活性二核錯体の立体特異的集積化
貞島一輝、高尾俊郎、山田泰教、鯉川雅 之、時井直	九州錯体化学懇談会創設 40周年記念シンポジウム	μ -ヒドロキソープリス (μ -カルボキシラト) 架橋二核オキソバナジ ウム (IV,IV) 錯体の構造と性質
今坂誠、武藤尚征、山田泰教、鯉川雅之、 時井直	九州錯体化学懇談会創設 40周年記念シンポジウム	ホスフィナト三重架橋多核金属錯体の合成と性質
貞島一輝、高尾俊郎、山田泰教、鯉川雅 之、時井直	九州錯体化学懇談会創設 40周年記念シンポジウム	μ -ヒドロキソープリス (μ -カルボキシラト) 架橋二核オキソバナジ ウム (,) 錯体の構造と性質

矢田光徳, 井上侑子, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 野田岩男, 佛淵孝夫	佐賀大学・九州大学合同研究集 人工関節のバイオメカニクスバイオマテリアル	「昨年のまとめ」と「今年の抱負」について
矢田光徳, 井上侑子, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 野田岩男, 佛淵孝夫	佐賀大学・九州大学合同研究集会人工関節のバイオメカニクスとバイオマテリアル	抗菌性を有する人工関節材料の開発ーナノ構造チタン酸塩薄膜の合成と抗菌性評価ー
井上侑子, 行徳聡人, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳, 野田岩男, 佛淵孝夫	社団法人日本セラミックス協会2009年年会	銀ーチタン酸銀ナノ複合体薄膜の特性評価
井上侑子, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳, 野田岩男, 佛淵孝夫	社団法人日本セラミックス協会2009年年会	チタン酸ナトリウムナノファイバー薄膜の高抗菌性
石原 圭子, Yan DH	生理学研究所研究会「膜機能分子ダイナミクスの分子機構解明に向けて」	内向き整流 K ⁺ チャネル Kir2.1 のゲーティングと細胞内 pH
飯笹英一, 永野幸生	大阪大学・蛋白研セミナー『蛋白質を創る、知る、使うー蛋白質科学と産業応用』	酵母を利用した高効率 DNA クローニング法およびその利用
小荒田秀一, 多田芳史, 末松梨絵, 三田村未央, 井上久子, 大田明英, 長澤浩平	第 105 回日本内科学会総会	全身性エリテマトーデス(SLE)における自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞の臨床的意義.
河野 史, 李 明子, 増子貞彦	第 113 回日本解剖学会	正中視索前核から脳弓下器官と室傍核への側副投射
李明子, 村田祐造, 河野史, 増子貞彦	第 113 回日本解剖学会	ラット脊髄終系遠位部に免疫組織化学的細胞構築
村田祐造, 李明子, 増子貞彦	第 113 回日本解剖学会総会	新生仔ラット脳幹におけるオキシトシン受容体の 観察
井手康博, 古賀智子, 北村二雄	第11回ヨウ素学会シンポジウム2008年11月	ヨウ素を触媒とするセルロース及びシクロデキストリンのアシル化反応
北村二雄	第11回連携大学院産学官交流セミナー	汎用性プラスチックの有効利用に関する基礎研究
長田聡史, 高島亮, 杉山大輔, 藤田一郎, 浜崎雄平, 大庭英樹, 児玉浩明	第11回連携大学院産学官交流セミナー	脂肪酸アミノ酸のフッ素スキャンによる生理活性評価
副島英伸, 東元健, 八木ひとみ, 岡田純一郎, 渡辺順子.	第 15 回遺伝性疾患に関する出生前診断研究会	胎盤と臍帯血で DNA メチル化状態が異なった Beckwith-Wiedemann 症候群の 1 例.
原田祐樹・吉賀豊司・近藤栄造	第 16 回日本線虫学会大会	Aphelenchus avenae の土壌生残性における土壌細菌の影響
奥村悦子・田中龍聖・吉賀豊司・近藤栄造	第 16 回日本線虫学会大会	Caenorhabditis japonica 耐久型幼虫がベニツチカメムシから離脱する要因
田中龍聖・奥村悦子・吉賀豊司・近藤栄造	第 16 回日本線虫学会大会	非休止状 Caenorhabditis japonica 耐久型幼虫の生存期間が短い原因は貯蔵脂質の消耗によるためか？
小荒田秀一, 菊池裕治, 多田芳史, 中村誠司, 米満伸久, 春田善男, 末松梨絵, 三田村未央, 井上久子, 大田明英, 堀内孝彦, 長澤浩平	第 17 回日本シェーグレン症候群研究会	シェーグレン症候群における末梢血および唾液腺組織における RP105 陰性 B 細胞の解析.
佐藤勇司, 金子新, 吉永北斗, 有働和馬, 徳田雄治, 藤山千里, 魚住二郎	第 17 回泌尿器科分子・細胞研究会.	脂肪細胞が前立腺癌細胞に与える影響について; Prostate cancer cell-adipocyte interaction in vitro.
田中彰吾, 内川裕生, 大和武彦	第18回九州沖縄地区高専フォーラム	高歪み三重結合を持つ [2. n] メタシクロファンー1ーイン類の合成・構造及び反応性
武藤さやか, 永野幸生	第21回植物脂質シンポジウム	A. thaliana lipopolysaccharide-binding protein (AtLBP) の植物自然免疫における機能解析

嶋崎貴文, 米倉豊, 安藤嘉基, 野田岩男, 宮本比呂志, 馬渡正明, 佛淵孝夫	第 23 回日本整形外科学会基礎学術集会	銀系抗菌生体材料の開発ー生体内における材料表面変化と血清銀濃度
川喜田英孝, 濱本幸志, 大渡啓介, 原田浩幸, 井上勝利	第 24 回日本イオン交換研究発表会	酵素反応で生成したポリフェノールによる金属吸着
XiongYing, Chaitanya Raj Adhikari, 井上勝利, 川喜田英孝, 大渡啓介, 原田浩幸	第 24 回日本イオン交換研究発表会	ジメチルアミンを導入した柿皮による貴金属の選択的な回収
井上潤一, 井上勝利, 川喜田英孝, 大渡啓介, 原田浩幸	第 24 回日本イオン交換研究発表会	ミカン搾汁残渣を利用したアンチモン (Ⅲ, V) の吸着・除去
井上潤一, 阿部稔, 井上勝利, 川喜田英孝, 大渡啓介, 原田浩幸	第 24 回日本イオン交換研究発表会	真空ポンプ油による金の溶媒抽出
中川恭嗣, Chaitanya Raj Adhikari, 井上勝利, 川喜田英孝, 大渡啓介, 原田浩幸	第 24 回日本イオン交換研究発表会	4級アミン型のバイオマス系吸着剤の金属吸着特性
T. Suzuki, H. Nishizawa, Y. Nakazato, T. Murayama, T. Shioya, T. Sakurai, H. Daida, S. Morimoto and N. Kurebayashi	第 25 回国際心臓研究学会(ISHR)日本部会総会	Channel remodeling and increased arrhythmogenic activity in ventricles of dilated cardiomyopathy (DCM) model mice
長田聰史, 杉山大輔, 田 皓, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	第 25 回有機合成化学セミナー	含フッ素アミノ酸によるメチオニン側鎖認識への影響
中本和樹, 長田聰史, 兒玉浩明	第 25 回有機合成化学セミナー	フルオロアルケンを有する C-結合型糖アミノ酸ビルディングブロックの合成研究
潮崎雅宏, 花本猛士	第 25 回有機合成化学セミナー	フルオロアセチレン化合物のラジカル反応
森本正敏, 前田達弘, 北嶋修司, 小池智也, 于 瑩, 柴田信光, 範 江林	第 26 回九州実験動物研究会総会	生活習慣病モデル動物となる遺伝子組換え(TG)ウサギの脳内活性物質の変化 I. TG ウサギの視床下部における NPY,SOM,VIP の検出
辻尾祐志, 溝呂木敏弘, 西島和俊, 桑原佐知, 大野民生, 田中慎	第 26 回九州実験動物研究会総会	X 層構成細胞の退行時形態変化の系統差
森本正敏, 前田達弘, 北嶋修司, 小池智也, 于 瑩, 柴田信光, 範 江林	第 26 回九州実験動物研究会総会	生活習慣病モデル動物となる遺伝子組換え(TG)ウサギの脳内活性物質の変化 I. TG ウサギの視床下部における NPY,SOM,VIP の検出
辻尾祐志, 溝呂木敏弘, 西島和俊, 桑原佐知, 大野民生, 田中慎	第 26 回九州実験動物研究会総会	X 層構成細胞の退行時形態変化の系統差
青木茂久 竹澤俊明 内橋和芳 戸田修二	第 27 回分子病理学研究会	皮膚再生と間葉系細胞ー誰が組織再生の主役なのかー
吉澤明菜, ショフィールーマン, 大和武彦	第 2 回有機π電子系シンポジウム	イミダゾリル基を有する金属イオン認識レセプターの合成と評価
青山貴博, 中塚映政, 古賀秀剛, 藤田亜美, 熊本栄一	第 30 回脊髓機能診断研究会	ATP 受容体の活性化による脊髓運動ニューロンの興奮
岳 海源, 藤田亜美, 柳 涛, 朴 蓮花, 蔣昌宇, 水田恒太郎, 友廣大輔, 中塚映政, 熊本栄一	第 30 回脊髓機能診断研究会	成熟ラット脊髓膠様質の興奮性シナプス伝達に及ぼすガラニンの作用
河野史, 増子貞彦, 李明子,	第 31 回神経科学学会、	脳弓下器官からの神経は正中視索前核から室傍核へ投射するニューロンにシナプスする
佐藤明美, 荒金尚子, 久富崇, 末岡榮三朗,	第 31 回日本分子生物学会年会	肺がんの早期診断マーカー、hnRNP B1 による DNA 修復抑制機構の解析
貞包雄次郎, 西 眞範, 浜崎雄平, 石井榮一	第 31 回日本分子生物学会年会	MicroRNA expression signatures deregulated in infant leukemias harboring MLL rearrangements.
中牟田亮一, 相信裕之, 和田将也, 松崎武経, 大石祐司, 岡美佳子, 竹鼻 眞, 高崎洋三, 安藤祥司	第 31 回日本分子生物学会年会 第 81 回日本生化学会大会 合同大会	水晶体特異的蛋白質 filensin と phakinin がつくる中間径フィラメントの形態解析

山本晶子、松永賢一郎、河野 史、河済博文、高崎洋三、安藤祥司	第 31 回日本分子生物学会年会 第 81 回日本生化学会大会 合同大会	プラナリア中間径フィラメント蛋白質による線維構造の形成
八木ひとみ、久郷裕之、福井千晶、東元健、城 圭一郎、押村光雄、向井常博、副島英伸、	第 31 回日本分子生物学会年会第 81 回日本生化学会大会合同大会 BMB2008	ヒト KIP2/LIT1 刷り込みドメインにおける ncRNA LIT1 の及ぼす影響、
下村拓也、高椋利幸	第 31 回溶液学シンポジウム	各種分子性液体とイミダゾリウム系イオン液体との混合
藤井健太、高椋利幸、梅林泰宏、	第 31 回溶液学シンポジウム	1・アルキル・3・メチルイミダゾリウム系イオン液体のナノ相分離構造に関する実験および理論的研究
高椋利幸、和田浩、藤井健太、竹内宗孝	第 31 回溶液学シンポジウム	HFIP-水混合溶液がつくる溶媒と環境と相分離
潮崎雅宏、花本猛士	第 32 回フッ素化学討論会	フルオロアセチレン化合物の付加反応
山田憲侍、花本猛士	第 32 回フッ素化学討論会	(トリフルオロメチル) シリルアセチレンの反応
小山正樹	第 32 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	巨大グルタミン酸脱水素酵素の機能解析と結晶化条件のスクリーニング
東麻梨江	第 32 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	超好熱アーキアの色素依存性 L-プロリン脱水素酵素複合体の L-プロリン脱水素酵素サブユニットの機能解析
堀江健太	第 32 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	LysM ドメインをもつ植物受容体キナーゼの生化学的性質の解析
野口千明	第 32 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	フラジェリン受容体の酵母での発現及びリガンドとの結合解析
宮城翔	第 32 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	リバース2ハブリット法の原理を利用した特定遺伝子破壊系統の検出法
飯笹英一	第 32 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	植物ロイシンリッチリピート受容体様キナーゼの発現系構築とその機能解析
Md. Ataur Rahman, 北村二雄	第 35 回有機典型元素化学討論会	超原子価ヨウ素反応剤により促進されるアルキンのヨードアリアル化反応
小荒田秀一、多田芳史、末松梨絵、三田村未央、井上久子、大田明英、長澤浩平	第 36 回九州リウマチ学会	関節リウマチにおける生物製剤治療前の in vitro サイトカイン解析と抗 TNF α 製剤の有効性との関連に関する検討、
小荒田秀一、多田芳史、末松梨絵、井上久子、三田村未央、大田明英、長澤浩平	第 36 回日本臨床免疫学会総会	全身性エリテマトーデス(SLE)における自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞のフェノタイプ解析、
嶋崎貴文、米倉豊、馬渡正明、佛淵孝夫、安藤嘉基、野田岩男、宮本比呂志	第 38 回日本人工関節学会	銀系抗菌生体材料の開発ーリアルタイム PCR による抗菌活性の定量化ー
原博満、吉田裕樹、斎藤隆	第 38 回日本免疫学会学術集会	CARMA1 と CARD9 により制御される細胞種特異的な ITAM を介した NF- κ B 活性化機構
島ノ江洋平、宮崎義之、原博満、吉田裕樹	第 38 回日本免疫学会学術集会	Role of CARD9 in anti-protozoan defense
Shinozaki Y, Miyazaki Y, Hara H, Yoshida H.	第 38 回日本免疫学会学術集会	Tumor-specific cytotoxic T cell generation and dendritic cell function are differentially regulated by interleukin 27 during development of anti-tumor immunity
Yoshida H	第 38 回日本免疫学会学術集会	Interleukin 27 signaling pathways in regulation of immune and autoimmune responses
井口尚美、塚田学、宮崎由紀、北村二雄	第 38 回複素環化学討論会	ベンゾトリアゾールのアルキニル化反応に関する置換基効果

藤瀬剛弘、野田隆博、藤本一真	第 39 回日本消化吸収学会総会	消化吸収機能における小腸粘膜の形態維持と中枢神経との関連について
山田壮亮, 王 克鏞, 谷本昭英, 範 江林, 島尻正平, 北嶋修司, 森本正敏, 渡邊照男, 笹栗靖之	第 3 回フォーラム「医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開」	細胞外基質分解酵素 MMP-12 は、初期動脈硬化巣の形成から進展に重要な促進因子である
山田壮亮, 王 克鏞, 谷本昭英, 範 江林, 島尻正平, 北嶋修司, 森本正敏, 渡邊照男, 笹栗靖之	第 3 回フォーラム「医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開」	細胞外基質分解酵素 MMP-12 は、初期動脈硬化巣の形成から進展に重要な促進因子である
北村二雄	第3回佐賀環境フォーラム・佐賀大学研究プロジェクト合同講演会	廃棄物資源を用いる有用物質への変換プロセスの開
尾崎岩太, 浜島弘史, 中島麻友美, 夏京合, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 水田敏彦	第 44 回日本肝臓学会総会	腫瘍抑制遺伝子 Programmed cell death 4 (PDCD4) の Protein kinase C (PKC)による調節
今村聡子, 菅虎雄, 平順一, 長田聰史, 兒玉浩明	第45回ペプチド討論会	静電的相互作用の強化を目的としたアラメチシンアナログの合成と生物活性
杉山大輔, 平河雄喜, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	第45回ペプチド討論会	二量化遊走ペプチドアンタゴニストの合成と生物活性
長田聰史, 杉山大輔, 佐藤桃子, 浜崎雄平, 藤田一郎, 兒玉浩明	第45回ペプチド討論会	イオウミメティックを利用した FPR メチオニン側鎖認識に関する洞察
小内美佳, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	第45回ペプチド討論会	環状ペプチド Hymenamide 類の合成とプライミング作用
相信裕之, 和田将也, 松崎武経, 成田貴行, 大石祐司, 岡美佳子, 竹鼻 真, 高崎洋三, 安藤祥司	第45回化学関連支部合同九州大会	水晶体に特異的な中間径フィラメント蛋白質の大腸菌による発現と機能解析
中牟田亮一, 百島亜紀, 関 清彦, 光富勝, 安藤祥司, 上田敏久	第45回化学関連支部合同九州大会	抗真菌性をもつオリゴペプチド
山本晶子, 松永賢一郎, 高井成幸, 河清博文, 高崎洋三, 安藤祥司	第45回化学関連支部合同九州大会	ブラナリアがもつ中間径フィラメント蛋白質の重合特性の解析
大島隆次, 木田徹也, 永野正光	第45回化学関連支部合同九州大会	ポリオキソ酸-界面活性剤複合化光触媒を用いた金ナノシートの調製
中本和樹, 長田聰史, 兒玉浩明	第45回化学関連支部合同九州大会	フルオロアルケンを組み込んだ非加水分解性グルコシルアスパラギン酸の合成
菅虎雄, 今村聡子, 平順一, 長田聰史, 兒玉浩明	第45回化学関連支部合同九州大会	異常アミノ酸 Dap を含む環状ペプチドの合成と生物活性
佐野聡, 斉藤聖, 杉山大輔, 長田聰史, 兒玉浩明	第45回化学関連支部合同九州大会	ジスルフィド結合を利用した HDAC-FTase ハイブリッド阻害剤
佐藤桃子, 柴田大介, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	第45回化学関連支部合同九州大会	fMLP N 端修飾アナログによる生理活性への影響
平河雄喜, 柴田大介, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	第45回化学関連支部合同九州大会	FPR アンタゴニスト二量体の合成と生物活性
今村聡子, 菅虎雄, 平順一, 長田聰史, 兒玉浩明	第45回化学関連支部合同九州大会	環状テトラおよびオクタペプチドの合成とイオンチャンネル活性
小内美佳, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	第45回化学関連支部合同九州大会	天然環状ペプチドの合成と好中球活性化
杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	第45回化学関連支部合同九州大会	GPCR 膜貫通配列をもつペプチドアナログの合成と性質
加賀裕也, 井上侑子, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 野田岩男, 佛淵孝夫, 矢田光徳	第45回化学関連支部合同九州大会	チタネートナノファイバー薄膜の合成と抗菌特性
行徳聡人, 井上侑子, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 野田岩男, 佛淵孝夫, 矢田光徳	第45回化学関連支部合同九州大会	チタン酸銀ナノ構造体薄膜の MRSA 抗菌特性とアパタイト形成能の評価
内ヶ崎雅夫, 井上侑子, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	第45回化学関連支部合同九州大会	ルテニウムマイクロコイルの合成

大塚誠史, 井上侑子, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	第45回化学関連支部合同九州大会	酸化コバルトナノワイヤーの合成
吉澤明菜, 志水倫恵, Shofiur Rahman, 大和武彦	第45回化学関連支部合同九州大会	ウレア部位を有するチアカリックス [4] アレーン類の合成とアニオン認識能
志水倫恵, 牧島司, 吉澤明菜, Shofiur Rahman, 大和武彦	第45回化学関連支部合同九州大会	イミダゾリル基を有するチアカリックス [4] アレーン類の合成及び金属錯体形成
木下高志, 瀧本将志, 大和武彦	第45回化学関連支部合同九州大会	イミダゾリル基を有するホモオキサリックス [4] アレーン類の合成・構造特性及び金属錯体形成
日田勝弘, 上野隆治, 大和武彦	第45回化学関連支部合同九州大会	tert-ブチル [3, 3] メタシクロファン類の合成と ipso-求電子置換反応
田原惇, 荒巻貴士, Shofiur Rahman, 大和武彦	第45回化学関連支部合同九州大会	オキサリックス [3] アレーンを基体とするレセプター合成とアニオン認識
荒巻貴士, Shofiur Rahman, 大和武彦	第45回化学関連支部合同九州大会	ヘキサホモリオキサリックス [3] アレーンを基体とするアンモニウムイオンレセプターの合成
Arjun Paudel, JianYong Hu, 大和武彦	第45回化学関連支部合同九州大会	スチリルピレン類の光誘起環化反応によるナフタレン縮合芳香族化合物の合成
田中彰吾, 加藤利佳, 大和武彦	第45回化学関連支部合同九州大会	高歪み三重結合を持つ [2, n] MCP-1-yne 類の合成および縮合多環芳香族化合物への変換
潮崎雅宏, 花本猛士	第45回化学関連支部合同九州大会	フルオロアセチレン化合物の合成と反応
橋本恵里, 前田諒子, 花本猛士	第45回化学関連支部合同九州大会	N-メチル-4-フルオリラゾール誘導体の合成と反応
井手康博, 北村二雄	第45回化学関連支部合同九州大会	ヨウ素触媒を用いるセルロースの簡便アシル化反応
Md. Ataur Rahman, 北村二雄	第45回化学関連支部合同九州大会	Metal-Free Hydroarylation of Alkynes
橋本拓也, 北村二雄	第45回化学関連支部合同九州大会	白金触媒によるビフェニル類のアルケニル化反応
小林壮一, 小山田重蔵, 北村二雄	第45回化学関連支部合同九州大会	パラジウム触媒を用いたポリスチレン系ポリマーの直接アルケニル化
吉田悠治, 北村二雄	第45回化学関連支部合同九州大会	パラジウム触媒によるヒドロアリール化を用いるヒドロキシマリリン誘導体の合成
吉田心, 中村博吉, 磯野健一, 野口英行	第45回化学関連支部合同大会	塩基性炭酸塩法による LiMn0.5Ni0.5O2の合成と電池特性
吉田雄一, 大石剛弘, 丸山洋史, 中村博吉, 磯野健一, 野口英行, 芳尾真幸	第45回化学関連支部合同大会	新規巨大キャパシタの電解液に関する研究
円能寺翔太, 磯野健一, 野口英行	第45回化学関連支部合同大会	二酸化マンガンへの化学的リチウム挿入
大賀涼太, 小野尊靖, 磯野健一, 野口英行	第45回化学関連支部合同大会	Mg 置換 Li3V2 (PO4) 3の電気化学特性
吉田心, 中村博吉, 磯野健一, 野口英行	第45回化学関連支部合同大会	塩基性炭酸塩法による LiMn0.5Ni0.5O2の合成と電池特性
吉田雄一, 大石剛弘, 丸山洋史, 中村博吉, 磯野健一, 野口英行, 芳尾真幸	第45回化学関連支部合同大会	新規巨大キャパシタの電解液に関する研究
西奈津子, 稲田由紀子, 辻功介, 宮崎倫子, 人見知洋, 在津正文, 室英理子, 稲田成安, 小林育子, 山本修一, 市丸智浩, 濱崎雄平	第45回日本小児アレルギー学会 日本小児アレルギー学会誌 22	皮膚 Keratinocyte における eotaxin3 産生に対する IFN- γ の作用
荒金尚子, 今井一枝, 小宮一利, 佐藤明美, 久富崇, 林真一郎, 中地敬, 末岡榮三朗	第48回日本呼吸器学会 学術講演会	肺癌における EGF 受容体変異発生の宿主要因
小宮一利, 荒金尚子, 林真一郎, 末岡榮三朗	第48回日本肺癌学会九州支部総会	Myc 標的遺伝子 mina53 の肺発癌における役割
杉田勝, 中村博吉, 芳尾真幸, 山 時雄	第49回電池討論会	リチウムイオン電池電極材料の機能性 (クーロン効率向上)

中村博吉, 朴金載, 芳尾真幸	第49回電池討論会	リチウムイオン電池の安全性向上に関する研究
朴金載, 中村博吉, 芳尾真幸, 黄大雄, Arjun Kmar Thapa, 石原達巳	第49回電池討論会	黒鉛負極を用いる新型蓄電貯蔵システム_酸化物負極
野口英行, 磯野健一, 円能寺翔太,	第49回電池討論会	マンガンおよびジルコニウムドーブ酸化チタンの合成とその電気化学特性
野口英行	第49回電池討論会	種々の金属をドーブした酸化チタンの合成とその電気化学特性
戸田修二	第49回日本組織細胞化学会総会	組織細胞化学に於ける転写解析 (シンポジウム)
小宮一利, 荒金尚子, 櫻木徹, 光岡正浩, 林真一郎, 末岡榮三朗,	第49回日本肺癌学会	Myc 標的遺伝子 mina53 の肺発癌における役割
白石良介, 藤瀬剛弘, 黒木 司, 柿本隆志, 岩切龍一, 藤本一真	第4回日本消化管学会総会学術集会	脂肪酸構成と酸化ストレス・大腸発癌
柿本隆志, 戸田修二, 青木茂久, 井手口浩幸, 白石良介, 岩切龍一, 藤本一真, 尾崎岩太, 松橋幸子	第4回日本消化管学会総会学術集会	PDCD4 の発現解析・胃癌における検討
白石良介, 藤本一真, 柳田晃良	第50回日本消化器病学会大会	共役リノール酸を用いた大腸発癌抑制効果の検討
飯世英一, 野口千明, 永野幸生	第50回日本植物生理学会年会	酵母を用いたハイスループットなロイシンリッチリピート受容体様キナーゼの発現系の検討
武藤さやか, 永野幸生	第50回日本植物生理学会年会	A.thaliana LPS-binding proteins (AtLBPs) の機能解析と LPS の植物生育阻害効果について
有働和馬, 青木茂久, 南里正之, 魚住二郎	第51回(平成20年度)日本腎臓学会学術総会,	脂肪組織は尿管上皮の構造・機能分化を促進する.
小荒田秀一, 多田芳史, 末松梨絵, 三田村未央, 井上久子, 大田明英, 長澤浩平	第52回日本リウマチ学会総会・学術集会 第17回国際リウマチシンポジウム	関節リウマチにおける CD4+T 細胞のサイトカイン産生能と治療反応性予測.
鎌田龍星・原田祐樹・吉田睦浩・近藤栄造・吉賀豊司	第53回 日本応用動物昆虫学会大会	日本産 Steinernema 属線虫と共生関係をもつ Xenorhabdus 属細菌の同定
田中愼, 溝呂木敏弘, 西島和俊, 青山博昭, 大野民生	第55回日本実験動物学会総会	ラットにおける骨評価系
田中愼, 溝呂木敏弘, 西島和俊, 青山博昭, 大野民生	第55回日本実験動物学会総会	ラットにおける骨評価系
武藤尚征, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	第58回錯体化学討論会	ホスフィナト三重架橋二核および三核鉄(III) 錯体の合成と性質
高尾俊郎, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	第58回錯体化学討論会	ビス(μ-カルボキシラト)架橋二核銅(II) コアへのμ-フルオロ架橋導入による磁気特性制御
三好祐輔, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	第58回錯体化学討論会	光学活性八面体型ユニットを含む硫黄架橋複核錯体の立体化学的特性
藤森美帆, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	第58回錯体化学討論会	ビス(2-ピリジルメチル)アミンを配位子とするオキソバナジウム(IV, V) 六核錯体の合成と性質
豊福崇, 武藤誠浩, 鯉川雅之, 山田泰教, 時井直, 御厨正博	第58回錯体化学討論会	四核ヘテロ金属錯体の金属配列制御と磁気的性質
武藤尚征, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	第58回錯体化学討論会	ホスフィナト三重架橋二核および三核鉄(II) 錯体の合成と性質
高尾俊郎, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	第58回錯体化学討論会	ビス(μ-カルボキシラト)架橋二核銅(II) コアへの m-フルオロ架橋導入による磁気特性制御
豊福崇, 武藤誠浩, 鯉川雅之, 山田泰教, 時井直, 御厨正博	第58回錯体化学討論会	四核ヘテロ金属錯体の金属配列制御と磁気的性質
藤森美帆, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井直	第58回錯体化学討論会	ビス(2-ピリジルメチル)アミンを配位子とするオキソバナジウム(IV, V) 六核錯体の合成と性質
塩谷 孝夫, 頼原 嗣尚	第59回 西日本生理学会	心筋カルシウムシグナリングにおける Na/Ca exchanger と PMCA の相互作用
市島 久仁彦, 山本信太郎, 頼原嗣尚	第59回西日本生理学会	α受容体刺激によるマウス心筋型 ICLswell の抑制に PIP3 減少が関与する

岳 海源, 藤田亜美, 柳 涛, 朴 蓮花, 水田恒太郎, 友廣大輔, 青山貴博, 中塚映政, 熊本栄一	第 59 回西日本生理学会	ラット脊髄後角膠様質ニューロンの膜興奮性に及ぼすガラニンの二相性作用
友廣大輔, 水田恒太郎, 藤田亜美, 柳 涛, 岳 海源, 朴 蓮花, 青山貴博, 中塚映政, 熊本栄一	第 59 回西日本生理学会	カエル坐骨神経の複合活動電位に及ぼすカプサイシンとその関連物質の抑制効果
蒋 昌宇, 藤田亜美, 柳 涛, 岳 海源, 朴 蓮花, 水田恒太郎, 友廣大輔, 青山貴博, 中塚映政, 熊本栄一	第 59 回西日本生理学会	ラット脊髄後角膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に対するレシニフェラトキシンの作用
Akiyoshi Tominaga, Ayaka Yamauchi, Toyoaki Anai, Toshiki Uchiyumi, Mikiko Abe, Ken-ichi Kucho, Masatsugu Hashiguchi, Ryo Akashi, Shusei Sato, Takakazu Kaneko, Satoshi Tabata, Susumu Arima and Akihiro Suzuki	第 5 回国際作物学会	Isolation and characterization of enhanced nitrogen fixation mutants of leguminous plants
川喜田英孝, 瀬戸弘一, 大渡啓介, 原田浩幸, 井上勝利	第 60 回日本生物工学会	酵素反応を用いた機能性デキストランの合成と機能
相信裕之, 和田将也, 中牟田亮一, 高崎洋三, 安藤祥司, 成田貴行, 大石祐司	第 61 回コロイドおよび界面化学討論会	水晶体に特異的な中間径フィラメント蛋白質の大腸菌による発現と形態解析
篠崎由賀里, 宮崎耕二, 吉田裕樹	第 67 回日本癌学会学術総会	Differential effects of IL-27 on cytotoxic T lymphocytes and dendritic cells during establishment of tumor immunity
久富崇, 富樹りか, 荒金尚子, 佐藤明美, 田中麻里子, 横尾真子, 出勝, 福島伯泰, 船井典子, 岡本一也, 末岡榮三朗.	第 70 回日本血液学会	DNA 修復阻害を標的とした ATL の新たな治療法開発の試み
吉田裕樹, 島ノ江洋平, 王森, 宮崎義之, 原博満	第 77 回日本寄生虫学会大会	新しい原虫感染防御因子: CARD9
松本明子, 川本俊弘, 高橋達也, 堀田美加子, 一瀬豊日, 小山倫浩, 市場正良	第 78 回日本衛生学会	アルデヒド脱水素酵素 2 遺伝子多型が及ぼす生体影響の基礎的検討
小宮一利, 荒金尚子, 佐藤明美, 富樹りか, 久富崇, 林真一郎, 常岡誠, 末岡榮三朗.	第 7 回肺分子病態研究会	Myc 標的遺伝子 mina53: 肺発癌における役割と予後因子としての可能性
鈴木 剛, 中里 祐二, 西澤 寛人, 中郡昭人, 村山 尚, 塩谷 孝夫, 櫻井 隆, 代田浩之, 森本 幸生, 呉林 なごみ	第 81 回日本薬理学会大会	トロポニン T 変異による拡張型心筋症モデルマウスの不整脈発生メカニズム
塩谷 孝夫, 森本 幸生, 額原 嗣尚	第 85 回日本生理学会大会	拡張型心筋症における心室性不整脈のイオン機序: 変異トロポニン T ($\Delta K210$) ノックインマウスを用いた解析
呉林 なごみ, 鈴木 剛, 西澤 寛人, 中里 祐二, 塩谷 孝夫	第 85 回日本生理学会大会	カルシウムおよび膜電位シグナル測定による心筋細胞の興奮収縮連関異常と伝導異常の検出
Akihiro Suzuki, Akiyoshi Tominaga, Ayaka Yamauchi, Kouichi Futsuki, Toshiki Uchiyumi, Mikiko Abe, Ken-ichi Kucho, Shiro Higashi, Masatsugu Hashiguchi, Ryo Akashi, Shusei Sato, Takakazu Kaneko, Satoshi Tabata, Toyoaki Anai and Susumu Arima	第 8 回ヨーロッパ窒素固定会議	Characterization of enf (enhanced nitrogen fixation) mutants of <i>Lotus japonicus</i>

Toshiki Uchiumi, Maki Nagata, Ei-ichi Murakami, Yoshikazu Shimoda, Fuyuko Shimoda Sasakura, Ken-ichi Kucho, Masahito Hashimoto, Akihiro Suzuki, Shiro Higashi and Mikiko Abe	第8回ヨーロッパ窒素固定会議	Expression of a class 1 hemoglobin gene and production of nitric oxide in response to rhizobia and plant pathogens in <i>Lotus japonicus</i>
Ei-ichi Murakami, Maki Nagata, Ken-ichi Kucho, Mikiko Abe, Akihiro Suzuki, Shiro Higashi and Toshiki Uchiumi	第8回ヨーロッパ窒素固定会議	Expression of defense genes of <i>Lotus japonicus</i> in symbiosis with <i>Mesorhizobium loti</i>
安藤祥司, 和田将也, 松崎武経, 高崎洋三, 岡美佳子, 竹鼻 真, 大石祐司	第8回日本蛋白質科学会年会	水晶体蛋白質 Filensin と Phakinin による試験管内での中間径フィラメントの形成
有働和馬, 青木茂久, 内橋和芳, 佐藤勇司, 藤山千里, 戸田修二, 魚住二郎	第96回日本泌尿器科学会総会	尿細管上皮細胞の増殖、分化に与える脂肪組織の影響
有働和馬, 青木茂久, 内橋和芳, 佐藤勇司, 藤山千里, 戸田修二, 魚住二郎	第96回日本泌尿器科学会総会	尿細管上皮細胞の増殖、分化に与える脂肪組織の影響
戸田修二, 青木茂久, 内橋和芳, 有働和馬, 山崎文朗, 渡辺恵子, 米満伸久, 杉原甫	第97回日本病理学会総会	皮膚の環境因子である気相-液相界面刺激はメラノーマ細胞の増殖を促進する
侯 力, 朴 美花, 徳永 蔵	第97回日本病理学会総会	Fumagillin による大腸癌の増殖と転移の制御
内橋和芳, 青木茂久, 有働和馬, 渡辺恵子, 米満伸久, 杉原甫, 戸田修二	第97回日本病理学会総会	Warthin like stroma を有する Oncocytic renal cell carcinoma の1例
内橋和芳, 青木茂久, 有働和馬, 渡辺恵子, 米満伸久, 杉原甫, 戸田修二	第97回日本病理学会総会	Warthin like stroma を有する Oncocytic renal cell carcinoma の1例
高棕利幸, 下村拓也, 藤井健太, 和田浩, 立川真衣, 飛石真理絵	中性子科学会第8回年会	アミド誘起によるフッ化アルコール-水混合溶液の相分離の研究
朴金載, 中村博吉, Tappa Arjun, 石原達巳, 芳尾真幸	電気化学会第76回大会	高電圧キャパシタと電解液
吉田心, 中村博吉, 野口英行, 芳尾真幸	電気化学会第76回大会	Li-Mn-Ni-Co 系酸化物の合成条件と電池特性
吉田心, 中村博吉, 野口英行, 芳尾真幸	電気化学会第76回大会	i-Mn-Ni-Co 系酸化物の合成条件と電池特性
大賀涼太, 野口英行	電気化学会第76回大会	5価, 3価金属同時ドーブ K-Ti-O 化合物から合成した酸化チタンの電気化学特性
野口英行, 田中理弘, 大賀涼太, 磯野健一	電気化学会第76回大会	異種金属ドーブ K-Li-Ti-O 化合物から合成した酸化チタンのリチウム電池特性
山本 信太郎, 市島 久仁彦, 額原 嗣尚	特定領域研究「生体膜トランスポートソームの分子構築と生理機能」平成20年度第1回班会議	マウス心室筋の細胞容積調節性アニオンチャネルのイノシトールリン脂質による調節
杉山大輔, 柴田大介, 長田聡史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	日本ケミカルバイオロジー研究会第3回年会	二量化ホルミルペプチドアンタゴニストの合成と生物活性
杉山大輔, 林良, 長田聡史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	日本ケミカルバイオロジー研究会第3回年会	二量化ホルミルペプチドアンタゴニストの合成と生物活性
柴田雅之, 穴井豊昭, 山田哲也, 阿部純, 喜多村啓介	日本育種学会台114回講演会	ダイズ種子中における脂質含量及びリノレン酸含有率の制御に関わる因子の探索
穴井豊昭, 秀島瑠満子, 今井奈保子	日本育種学会台114回講演会	TILLING 法によるダイズ突然変異体ライブラリーのスクリーニング
穴井豊昭	日本育種学会台115回講演会	ダイズ遺伝資源中に見出された FAD2 遺伝子ファミリーの多様性
竹下道範, 福島ゆかり, 田中千奈津	日本化学会春季年会	チオフェノファン-1-エン類のフォトクロミズム

中本和樹, 長田聰史, 兒玉浩明	日本化学会西日本大会	フルオロアルケン骨格を有する糖アミノ酸ハイブリッドの合成
今村聡子, 菅虎雄, 平順一, 長田聰史, 兒玉浩明	日本化学会西日本大会	環状ペプチドによるイオンチャンネル形成と構成アミノ酸残基数の効果
小内美佳, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	日本化学会西日本大会	天然環状ペプチドの合成と好中球ブライミング作用
杉山大輔, 平河雄喜, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	日本化学会西日本大会	ホルミルペプチドアンタゴニスト Boc-Met-Leu-Phe 二量体の合成と性質
長田聰史, 杉山大輔, 田 皓, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	日本化学会西日本大会	含フッ素ミメティックプローブを用いたメチオニン側鎖認識機構の解析
新町洋文, 吉木政弘, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 兒玉浩明	日本化学会西日本大会	HP・ウレアーゼ由来ペプチドの合成と好中球遊走活性
山口翔平, 中村武史, 古賀健, 竹下道範	日本化学会西日本大会	ポリマーに結合したフォトクロミックシクロファン-1-エン類のフォトクロミズム
村上和斗, 中村武史, 竹下道範	日本化学会西日本大会	フォトクロミックナフタレノファン-1-エン類の合成とフォトクロミズム
福島ゆかり, 宮崎貴志, 田中千奈津, 竹下道範	日本化学会西日本大会	光学活性チオフェノファン-1-エン類の光学分割とエナンチオ特異的フォトクロミック反応
中村武史, 前川瞬, 竹下道範	日本化学会西日本大会	フォトクロミック [2, 2] メタシクロファン-1-エン類の合成とフォトクロミズム
宮崎貴志, 竹下道範	日本化学会西日本大会	水素結合性超分子の光スイッチング
陣内裕継, 宮崎貴志, 竹下道範	日本化学会西日本大会	フォトクロミックメタシクロチオフェノファン-1-エン類の合成とフォトクロミズム
吉田雄一, 中村博吉, 磯野健一, 野口英行, 芳尾真幸	日本化学会西日本大会	新規巨大容量ハイブリッドキャパシタ
志波政文, 中村博吉, 磯野健一, 野口英行, 芳尾真幸	日本化学会西日本大会	イミド系添加剤を含む電解液を用いたリチウムイオン電池のエネルギー密度の改善
大賀涼太, 円能寺翔太, 磯野健一, 野口英行	日本化学会西日本大会	バルク状 TiO ₂ ・B の合成とそのリチウム電池特性
杉山大輔, 柴田大介, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	日本化学会第88春季年会	GPCR 型受容体の膜貫通ペプチドの合成と好中球活性化
小山田重蔵, 北村二雄	日本化学会第88春季年会	白金触媒による芳香族化合物とプロピオール酸エチルの反応: アリールブタジエンの合成
吉田悠治, 北村二雄	日本化学会第88春季年会	パラジウム触媒によるヒドロアリール化を用いるヒドロキシノードクマリン誘導体の合成
立本耕太郎, 小山田重蔵, 北村二雄	日本化学会第88春季年会	Pd 触媒を用いるフェノールとプロピオール酸エチルの反応によるアルケニルクマリンの生成
小林壮一, 北村二雄	日本化学会第88春季年会	パラジウム触媒を用いるスチレン系ポリマーの直接アルケニル化における溶媒効果
泉隆行, 橋本拓也, 北村二雄	日本化学会第88春季年会	鉄触媒を用いるアルキンのヒドロアリール化反応
紫藤史亨, 北村二雄	日本化学会第88春季年会	ペルオキシ二硫酸カリウム/ヨウ素反応剤を用いるポリヨウ素化合物の簡便合成
堀勇治, 高井雅望, 北村二雄	日本化学会第88春季年会	DBU・BrCCl ₃ を反応剤とする活性メチレン化合物の臭素化と二量化反応
橋本拓也, 北村二雄	日本化学会第88春季年会	白金触媒を用いるプロピオール酸類のジアリールアルカンによるヒドロアリール化反応
長 俊弘, 河野みゆき, 三好祐輔, 鯉川雅之, 時井直, 山田泰教	日本化学会第89回春季年会	芳香族ジイミンを含む光学活性な硫黄架橋複核錯体の立体特異的集積化
三好祐輔, 竹下弥弥香, 長俊弘, 鯉川雅之, 時井直, 山田泰教	日本化学会第89回春季年会	置換可能部位を有する光学活性希土類錯体の合成と性質
下村拓也, 本田裕介, 高椋利幸	日本化学会第89回春季年会	イミダゾリウム系イオン液体とメタノールとの混合状態
吉澤明菜, ショフィールラーマン, 大和武彦	日本化学会第89回春季年会	イミダゾリル基を有する金属イオン認識レセプターの合成と評価
日田勝弘, 志水倫恵, 前田恭行, 大和武彦	日本化学会第89回春季年会	ポリメチル置換 [2, 2] シクロファンの合成・構造及び反応性

胡鑑勇, Paudel Arjun, 大和武彦	日本化学会第89回春季年会	4, 5, 9, 10-テトラキス(アリールエチニル)ピレン誘導体の選択的合成とスペクトル特性
木下孝志, Ni xin long, 大和武彦	日本化学会第89回春季年会	トリアゾール基を有するホモオキサリックス[3] アレーンの合成・構造特性及び金属イオン認識評価
吉澤明菜, ショフィールラマン, 大和武彦, 大和武彦	日本化学会第89回春季年会	ピリジルメチル基を有するチアカリックス[4] アレーンの合成と金属イオン認識評価
三好祐輔, 竹下沙弥香, 長 俊弘, 鯉川雅之, 時井直, 山田泰教	日本化学会第89回春季年会	置換可能部位を有する光学活性希土類錯体の合成と性質
平河雄喜, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	日本化学会第89回春季年会	Boc-Phe- (D-Leu-Phe) 2の二量化と生物活性
新町洋文, 杉山大輔, 長田聰史, 藤田一郎, 浜崎雄平, 兒玉浩明	日本化学会第89回春季年会	ウレアーゼ由来ペプチドの合成とヒト好中球遊走活性
栗山友希, 菅虎雄, 伊東純子, 長田聰史, 兒玉浩明	日本化学会第89回春季年会	Aib-Pro 配列を多く含む短鎖ペプチド cervinin 類の合成と生物活性
杉山大輔, 平河雄喜, 長田聰史, 浜崎雄平, 藤田一郎, 兒玉浩明	日本化学会第89回春季年会	fMLP アンタゴニストの二量化とヒト好中球での生物活性
川喜田英孝, 瀬戸弘一, 大渡啓介, 原田浩幸, 井上勝利	日本食品工学会第9回年次大会	酵素反応を用いた機能性デキストランの作製
有田沙織, 淵田直樹, 本島浩之, 渡邊啓一	日本生化学会九州支部例会	Subtilisin Carlsberg のβ8-9 ストランド間ターンにおける Gly への置換及び Gly の挿入による活性や熱安定性への影響
山口真須美, 本島浩之, 渡邊啓一	日本生化学会九州支部例会	好冷細菌 <i>Pseudoalteromonas</i> sp. AS-131 由来グルコース-6-リン酸デヒドロゲナーゼの大腸菌による発現と性質
川上竜巳, 櫻庭春彦, 大島敏久	日本生化学会九州支部例会	超好熱アーキア <i>Aeropyrum pernix</i> のリンゴ酸脱水素酵素の特徴
堀江健太, 飯笹英一, 工藤隆大, 永野幸生	日本生化学会九州支部例会	LysM ドメインをもつ植物受容体キナーゼの性質
松崎武経, 和田将也, 大石祐司, 岡美佳子, 竹鼻 真, 高崎洋三, 安藤祥司	日本生化学会九州支部例会	水晶体蛋白質フィレンシンとファキニンの試験管内重合特性の解析
中牟田亮一, 相信裕之, 和田将也, 松崎武経, 大石祐司, 岡美佳子, 竹鼻 真, 高崎洋三, 安藤祥司	日本生物物理学会第46回年会	水晶体特異的蛋白質 Filensin と Phakinin がつくる中間径フィラメントの形態解析
小山正樹, 川上竜巳, 大島敏久	日本農芸化学会2009年度大会	<i>Janthinobacterium lividum</i> 由来巨大グルタミン酸脱水素酵素のアミノ酸による活性化の特徴
川上竜巳, 櫻庭春彦, 大島敏久	日本農芸化学会2009年度大会	超好熱アーキア由来 L-プロリン脱水素酵素複合体の機能解析
飯笹英一, 堀江健太, 光富勝, 永野幸生	日本農芸化学会2009年度大会	植物キチン受容体 CERK1/LysM RLK1 の酵母発現系の検討およびその生化学的機能解析
武藤さやか, 永野幸生	日本農芸化学会2009年度大会	<i>A. thaliana</i> lipopolysaccharide-binding protein (AtLBP) の植物自然免疫における機能解析
百島亜紀, 副島菜都美, 上田敏久, 関清彦, 光富勝	日本農芸化学会2009年度大会	「アマランサス種子由来抗真菌性ペプチドの大腸菌を用いた発現」
下川倫子, 南 雄二, 渡邊啓一, 八木史郎	日本農芸化学会2009年度大会	マベガイ由来新規抗菌ペプチドの精製および諸性質
岩崎翔平, 烏山春佑, 本島浩之, 渡邊啓一	日本農芸化学会2009年度大会	南極産好冷細菌 <i>Shewanella</i> sp. AS-11 由来無機ピロリン酸分解酵素の大腸菌による発現、精製及び酵素学的性質
有田沙織, 淵田直樹, 本島浩之, 渡邊啓一	日本農芸化学会2009年度大会	Subtilisin Carlsberg のβ8-9 ストランド間 PTN 配列における Gly 置換が熱安定性や活性に及ぼす影響
川上竜巳, 櫻庭春彦, 大島敏久	日本農芸化学会西日本支部大会	超好熱アーキア <i>Aeropyrum pernix</i> のリンゴ酸脱水素酵素の構造解析
小川温子, 中山智彦, 柿本賢ノ輔, 本島博之, 渡邊啓一	日本農芸化学会西日本支部大会	南極産好冷細菌由来グルコキナーゼの大腸菌による発現と酵素学的性質

百島亜紀、江頭直紀、出口征弥、諸熊晃典、吉村修一、関清彦、光富勝、安藤祥司、上田敏久	日本農芸化学会西日本支部大会	「抗真菌性を持つトリペプチド」
今村聡子、菅虎雄、平順一、長田聰史、兒玉浩明	日本農芸化学会西日本支部大会	環状ペプチドの合成とリン脂質膜上での機能
小内美佳、杉山大輔、長田聰史、藤田一郎、浜崎雄平、兒玉浩明	日本農芸化学会西日本支部大会	好中球の活性酸素放出に関するプライミングを誘導する構造因子の検索
杉山大輔、林良、長田聰史、藤田一郎、浜崎雄平、兒玉浩明	日本農芸化学会西日本支部大会	ヒト好中球受容体由来疎水性ペプチドの合成と活性酸素放出への影響
藤井健太、福田周平、高椋利幸、小原真司、金久保光央、亀田恭男、梅林泰宏、石黒慎一	日本分析化学会第57回年会	イオン液体中で形成する特殊反応場構造とそのアルキル鎖長依存性
高椋利幸、本田裕介、藤井健太	日本分析化学会第57回年会	SANS および NMR 法による分子性液体中でのイミダゾリウム系イオン液体の会合体形成
北川 範仁、小田万友子、北嶋修司、高崎光浩、十時忠秀	日本麻酔科学会第55回学術集会	ケタミンによる神経障害のメカニズムは可溶化作用ではない
北川 範仁、小田万友子、北嶋修司、高崎光浩、十時忠秀	日本麻酔科学会第55回学術集会	ケタミンによる神経障害のメカニズムは可溶化作用ではない
河野 史、李 明子、増子貞彦	平成20年度基生研研究会「体内環境を維持する諸機構の統合的理解をめざして」	正中視索前核から視床下部室傍核へ投射するニューロンに対する脳弓下器ニューロンの調節様式
塩谷 孝夫、森本 幸生、瀬原 嗣尚	平成20年度生理研研究会「イオンチャネル・トランスポーターと心血管機能：学際的取り組みによる新戦略」	拡張型心筋症における心室性不整脈のイオン機序：変異トロポニンTノックインマウスモデルを用いた解析
上山真理子、佐野聡、長田聰史、坂口和靖	北海道支部2008年夏季研究発表会	フルオロアルケン骨格をもつ新規チオール系化合物のHDAC阻害能
塩谷 孝夫	名取禮二記念筋肉シンポジウム	マウスモデルからの心筋細胞の簡便な単離法
鈴木 剛、中里 祐二、西澤 寛人、中郡昭人、村山 尚、塩谷 孝夫、櫻井 隆、代田浩之、森本 幸生、呉林 なごみ	名取禮二記念筋肉シンポジウム	トロポニンT変異による拡張型心筋症モデルマウスの不整脈発生メカニズム
Hidetaka Kawakita		Modified dextran synthesis via the enzymatic reaction
Soichi Kobayashi, Takuya Hashimoto, Juzo Oyamada, Tsugio Kitamura		Direct C-H Coupling of Polystyrene with Acrylates Using a Palladium Catalyst
大渡啓介、橋口直也、川喜田英孝、原田浩幸、井上勝利		架橋型カリックス [4] アレーンビリジル樹脂による銀の吸着
Arjun Paudel, Jian-yong Hu, Takehiko Yamato		Synthesis and structural properties of novel polycondensed aromatic compounds with double-helicene structure derived from 4,9-bis(arylethenyl)pyrenes

受賞		
受賞者名	賞の名称	受賞の対象となった成果の概要
原博満	日本インターフェロンサイトカイン学会奨励賞	TAMを介したNF- κ B活性化の細胞種特異的な制御機構に関する研究
原博満	日本免疫学会研究奨励賞	CARD9とCARMA1を介した免疫細胞活性化の制御機構
中塚映政	日本神経科学学会奨励賞	難治性疼痛の発生機序ならびに新規鎮痛法の解明

中塚映政	第 30 回日本疼痛学会優秀演題賞	脊髄電気刺激による鎮痛機構
藤田亜美	The 3rd Asian Pain Symposium Poster Award	L-Glutamate release from nerve terminals is enhanced by PAR-1 activation in the adult rat spinal dorsal horn.
小宮一利	肺分子病態研究会奨励賞	

外部資金		
代表者名	資金の名称 (金額:千円)	研究課題
原博満	(財)東京生化学研究会研究奨励金 (1,500)	CARD11 を介したリンパ腫の生存・増殖シグナルの制御機構の解明
穴井豊昭	(独) 農業生物資源研究所ゲノム研究成果を活用した大豆等イネ科以外の新品種開発 (他作物マーカー) プロジェクト (2,000)	開花期 QTL の候補遺伝子に関する変異体のスクリーニング
穴井豊昭	(独) 農業生物資源研究所ジーンバンク事業 (2,000)	ダイズ脂肪酸組成の評価と新規アッセイ系を用いた脂肪酸不飽和化酵素遺伝子群の多様性についての解析
吉田裕樹	科学研究費補助金基盤研究 (B) (200)	癌ペプチドを用いた口腔癌の早期診断法およびオーダーメイド免疫療法の開発
魚住二郎	科学研究費補助金基盤研究 (C) (1,300)	尿細管上皮の増殖、構造・機能分化に与える脂肪組織の影響の解析および再生機構の解明
北嶋修司	科学研究費補助金基盤研究 (C) (1,690)	新規遺伝子組換えウサギによるメタボリックシンドロームにおける PPAR の役割の解明
熊本栄一	科学研究費補助金基盤研究 (C) (600)	ラット脊髄後角の痛み伝達制御におけるアラキドン酸カスケードの役割
小荒田秀一	科学研究費補助金基盤研究 (C) (1,690)	自己免疫疾患における自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞を標的とした治療法の開発.
末岡榮三朗	科学研究費補助金基盤研究 (C) (1,300)	ATL の発症・進展における DNA 修復阻害因子 hnRNP B1 の作用と治療への応用
鈴木章弘	科学研究費補助金基盤研究 (C) (1,950)	根粒菌との共生窒素固定能が強化された新規マメ科植物の解析
中塚映政	科学研究費補助金基盤研究 (C) (2,100)	神経因性疼痛モデルラットにおける P2X 受容体を介した痛覚情報伝達制御機構の解析
中塚映政	科学研究費補助金基盤研究 (C) (200)	脊髄運動ニューロンにおける P2X 受容体の生理的役割とその細胞死への関与について
原博満	科学研究費補助金基盤研究 (C) (1,300)	ITAM 保有受容体の NF- κ B 活性化シグナル伝達機構と生理的意義の解明
吉賀豊司	科学研究費補助金基盤研究 (C) (2,000)	「高い殺虫活性を示す新規フォトラブドゥス属細菌の病原性因子と宿主応答」

戸田修二	科学研究費補助金 基盤研究 (C) (1,600)	喉頭癌由来癌幹細胞の生存・増殖・分化・遊走における間質細胞の役割とその制御機構
十時忠秀, 垣内好信, 高崎光浩	科学研究費補助金 基盤研究 (C) (1,040)	局所麻酔薬による神経毒性に関する作用機序の解明 (継続)
西島和俊	科学研究費補助金 基盤研究 (C) (500)	急性冠症候群克服の疾患特異的 MMP の探索・遺伝子改変ウサギを用いた研究
北嶋修司	厚生労働科学研究費補助金・創薬基盤推進研究事業 (1,640)	急性冠症候群の疾患モデルウサギの開発及びバイオリソースの樹立
戸田修二	佐賀大学中期計画実行経費 (医学部研究者育成支援事業) (1,000)	細胞肥大は脂肪細胞の増殖・機能特性の制御因子か？
吉田裕樹	日本医師会医学研究助成費 (1,500)	新規免疫抑制性サイトカインIL-27による免疫制御機構の解明と治療応用
穴井豊昭	文部科学省 ナショナルバイオリソースプロジェクト (3,000)	ミヤコグサ・ダイズ遺伝資源の種子成分分析
荒金尚子	医学部附属先端医学研究推進支援センター研究推進部門 (700)	腫瘍バンクの確立とがん感受性及び治療予測因子の検討
荒金尚子	科学研究費補助金 (3,000)	ATL の発症・進展における DNA 修復阻害因子 hnRNP B1 の作用と治療への応用
吉田裕樹	科学研究費補助金 萌芽研究 (900)	ループスエリテマトーデス発症における Th17 細胞集団の果たす役割とその制御機構
佐藤勇司	科学研究費補助金 若手研究 (B) (900)	骨髄幹細胞 (前駆脂肪細胞) の前立腺癌への影響: シグナル伝達の網羅的解析
藤田亜美	科学研究費補助金 若手研究 (B) (600)	ラット脊髄後角の痛覚伝達制御におけるプロテアーゼ受容体とTRPチャネルの相互作用
吉田裕樹	科学研究費補助金 特定領域研究(2) (7,600)	原虫感染時のサイトカインによる免疫・炎症病変形成機構の解析とその治療応用
吉田裕樹	科学研究費補助金 特定領域研究(2) (4,000)	新規免疫抑制性サイトカインIL-27による免疫制御機構の解明と治療応用
原博満	科学研究費補助金 特定領域研究(2) (4,200)	ITAM 受容体-CARD9 シグナルの自己免疫病における役割
飯笹英一	科学研究費補助金 (特別研究員奨励費) (900)	ロイシンリッチリピート受容体キナーゼとそのリガンドの相互作用機構の解明
中塚映政	科研費補助金 学術創成研究費 (5,000)	神経因性疼痛発症メカニズムの解明
末岡榮三朗	喫煙科学研究財団助成金 (2,000)	肺がんにおける EGF 受容体変異の発生機構
荒金尚子	喫煙科学研究財団助成金 (2,000)	肺がんにおける EGF 受容体変異発生の宿主要因と機能的意義

浜崎雄平	厚生労働科学研究費補助金 (2,000)	アトピー性皮膚炎のかゆみの解明と治療の標準化に関する研究
荒金尚子	佐賀大学中期計画実行経費 医学部研究者育成事業 [臨床] (1,000)	ヒストン脱メチル化酵素を標的とした肺癌治療戦略の検討
末岡榮三朗	佐賀大学中期計画実行経費 ・医学部研究者育成事業 [臨床] (1,000)	白血病幹細胞に対する生存シグナルを標的とした治療法の開発
安藤祥司	佐賀大学中期計画実行経費 (医学部研究者育成支援事業) (1,000)	白内障に関与する蛋白質分解酵素の解明
山本修一、人見会美子、稲田由紀子、辻功介	佐賀大学中期計画実行経費、医学部研究者育成事業 (500)	小児気管喘息における気道炎症の評価法の確立 (気道炎症およびリモデリングを制御する因子の解明を目指して)
田代克弥	佐賀大学中期計画実行経費、医学部研究者育成事業 (500)	川崎病急性期における活性化単球／マクロファージ由来の Resistin の作用の解明
原博満	日本免疫学会研究奨励賞 副賞 (100)	CARD9 と CARMA1 を介した免疫細胞活性化の制御機構
吉賀豊司	農林水産省、委託プロジェクト“生物機能を活用した環境負荷低減技術の開発” (1,600)	「昆虫病原性線虫の共生細菌の機能評価と液体培養系の開発」
池田進	福岡地区水道企業団 (交付金なし)	海淡センターの使用済み膜及び高濃度海水の有効利用等：海水淡水化施設の高濃度海水の幅広い有効利用について
池田進	海洋エネルギー研究センター全国共同利用研究 (200)	ダイヤモンド電極による海水の電気化学特性および電解
近藤敏弘	産業医学振興財団産業医学に関する調査研究助成金 (交付金なし)	ホルムアルデヒド曝露作業者の個人曝露濃度測定評価
兒玉宏樹	民間等との共同研究 (2,000)	地下水の溶存有機物評価に関する研究
宮島徹	新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業・緊急対応型調査研究 (10,000)	ため池等の浚渫土砂の有効利用法の実用化に向けた調査研究
兒玉宏樹	佐賀大学海洋エネルギー研究センター共同利用研究 (150)	海洋深層水中の腐植物質の特性評価
大石祐司	重点地域研究開発推進プログラム (2,000)	貴液海綿状にできる分子膜を利用した有機 EL 素子の開発

中島謙一	科学研究費補助金 基盤研究 (B) (15,470)	非対称トリブロック共重合体ミセルを鋳型とする中空無機ナノ粒子の合成と構造制御
宮島徹	農林水産省緊急対応型調査研究 (10,000)	クリーク底泥の安定性、および有効性の保証データの作成
兒玉浩明	科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2,340)	ヘテロ二量体化受容体の発現する多様な生物活性を識別する膜貫通ペプチドダイマーの開発
杉山大輔	科学研究費補助金 (特別 研究員奨励費) (600)	GPCR 型受容体の二量化制御による好中球の高度活性化機能の解明

7. センター教職員による業績

著書		
著者名	書名	担当題目 (共著の場合)
永野幸生	分子細胞生物学辞典	項目の一つを執筆

原著論文		
著者名	雑誌名	題目
弥富雅信, 秀島聖尚, 小松智, 平川信洋, 青柳孝彦, 北川範仁, 笠原貴紀, 可徳三博, 鶴田敏幸 (研究指導: 北嶋修司)	九州・山口スポーツ医・科研究会誌 20, 52-57	成長期野球肘の重症化をもたらす個体要因について
北嶋修司, 森本正敏	関西実験動物研究会会報 30, 16-20	凍結精子による遺伝子組換えウサギの系統保存
古賀寿記, 高原信二, 小松智, 平川信洋, 青柳孝彦, 北川範仁, 笠原貴紀, 可徳三博, 鶴田敏幸 (研究指導: 北嶋修司)	九州・山口スポーツ医・科研究会誌 20, 128-134	左踵骨前方突起疲労骨折を呈し、骨接合術を施行した一症例
中野達也, 秀島聖尚, 小松智, 平川信洋, 青柳孝彦, 北川範仁, 笠原貴紀, 可徳三博, 鶴田敏幸 (研究指導: 北嶋修司)	九州・山口スポーツ医・科研究会誌 20, 85-90	成長期野球競技者における腰痛の現状
西島和俊	九州実験動物雑誌 24, 9-16	喉頭上皮における炭酸ガス受容体の検索
辻尾祐志, 溝呂木敏弘, 桑原佐知, 西島和俊, 大野民生, 青山博昭, 田中愼	九州実験動物雑誌 24, 45-49	近交系での特性解析
辻尾祐志, 溝呂木敏弘, 西島和俊, 桑原佐知, 大野民生, 青山博昭, 田中愼	九州実験動物雑誌 24, 51-54	X 層厚生細胞の退行時形態の系統差
鶴田敏幸, 可徳三博, 青柳孝彦, 笠原貴紀, 北川範仁 (研究指導: 北嶋修司)	日本手の外科学会雑誌 24, 1097-1102	上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する治療成績
鶴田敏幸, 可徳三博, 青柳孝彦, 北川範仁, 道下竜馬 (研究指導: 北嶋修司)	日本臨床スポーツ医学会誌 16, 250-257	若年スポーツ選手における膝蓋骨下極障害 治療成績とその病態に対する一考察
Sakuraba H, Yoneda K, Satomura T, Kawakami R, Ohshima T.	Acta Crystallographica Section F F65, 199-203	Structure of a D-tagatose 3-epimerase-related protein from the hyperthermophilic bacterium Thermotoga maritima
Satomura T, Kawakami R, Sakuraba H, Ohshima T	Journal of Bioscience and Bioengineering 106, 16-21	A Novel Flavin Adenine Dinucleotide (FAD) Containing D-Lactate Dehydrogenase from the Thermoacidophilic Crenarchaeota Sulfolobus tokodaii strain 7: Purification, Characterization and Expression in Escherichia coli

Yamada S., Wang K-Y., Tanimoto A., Fan J., Shimajiri S., Kitajima S., Morimoto M., Tsutsui M., Watanabe T., Yasumoto K. and Sasaguri Y.	Am. J. Pathol. 172, 1419-1429	Matrix metalloproteinase 12 is a factor that accelerates the initiation of atherosclerosis and stimulates the progression of fatty streaks to fibrous plaques in transgenic rabbits.
Yu Y., Koike T., Kitajima S., Liu E., Morimoto M., Shiomi M., Hatakeyama K., Asada Y., Wang K-Y., Sasaguri Y., Watanabe T. and Fan, J.	Histol. Histopathol. 23, 1503-1516	Temporal and quantitative analysis of expression of metalloproteinase (MMPs) and their endogenous inhibitors in atherosclerotic lesions.
Terato, H., Tanaka, R., Nakaarai, Y., Nohara, T., Doi, Y., Iwai, S., Hirayama, R., Furusawa, Y. and Ide, H.	J. Radiat. Res. 49, 133-146	Quantitative analysis of isolated and clustered DNA damage induced by gamma-rays, carbon ion beams, and iron ion beams.
Terato, H., Watari, H., Shimazaki, Y., Hirayama, R., Furusawa, Y. and Ide, H.	Nucleic Acids Symp. Ser. 52, 443-444	Analysis for complexity of clustered DNA damage generated by heavy ion beams.
Ide, H., Nakano, T., Salem, A. M. H., Terato, H., Pack S. P. and Makino, K.	Nucleic Acids Symp. Ser. 52, 57-58	Repair of DNA-protein crosslink damage: Coordinated actions of nucleotide excision repair and homologous recombination.

総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文		
著者名	雑誌名	題目
大島敏久、櫻庭春彦、川上竜巳、里村武範、津下英明	日本応用酵素協会誌 43, 33-44	超好熱性アーキアのフラビン含有アミノ酸脱水素酵素の機能と構造、及び応用

特許		
発明者名	題目	備考
池田進	製塩方法	特願(未公開)

一般講演		
発表者	会議等名	題目
小山正樹、川上竜巳、大島敏久	2009 年度日本農芸化学会大会	Janthinobacterium lividum 由来巨大グルタミン酸脱水素酵素のアミノ酸による活性化の特徴
川上竜巳、櫻庭春彦、大島敏久	2009 年度日本農芸化学会大会	超好熱アーキア由来 L-プロリン脱水素酵素複合体の機能解析
川上竜巳、櫻庭春彦、大島敏久	日本農芸化学会西日本支部大会	超好熱アーキア Aeropyrum pernix のリンゴ酸脱水素酵素の構造解析
東麻梨江、櫻庭春彦、大島敏久、川上竜巳	BMB2008	超好熱アーキアの色素依存性 L-プロリン脱水素酵素複合体のプロリン脱水素酵素サブユニットの機能解析

川上竜巳、櫻庭春彦、大島敏久	日本生化学会支部会	超好熱アーキア <i>Aeropyrum pernix</i> のリンゴ酸脱水素酵素の特徴
川上竜巳、櫻庭春彦、大島敏久	BMB2008	超好熱アーキア <i>Thermococcus profundus</i> の色素依存性 L-プロリン脱水素酵素複合体の機能
小山正樹 (研究指導: 川上竜巳)	第32回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	巨大グルタミン酸脱水素酵素の機能解析と結晶化条件のスクリーニング
東麻梨江 (研究指導: 川上竜巳)	第32回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	超好熱アーキアの色素依存性 L-プロリン脱水素酵素複合体の L-プロリン脱水素酵素サブユニットの機能解析
飯笹英一、堀江健太、光富勝、永野幸生	日本農芸化学会 2009 年度大会	植物キチン受容体 CERK1/LysM RLK1 の酵母発現系の検討およびその生化学的機能解析
武藤さやか、永野幸生	日本農芸化学会 2009 年度大会	<i>A. thaliana</i> lipopolysaccharide-binding protein (AtLBP) の植物自然免疫における機能解析
飯笹英一、野口千明、永野幸生	第 50 回日本植物生理学会年会	酵母を用いたハイスループットなロイシンリッチリピート受容体様キナーゼの発現系の検討
武藤さやか、永野幸生	第 50 回日本植物生理学会年会	<i>A. thaliana</i> LPS-binding proteins (AtLBPs) の機能解析と LPS の植物生育阻害効果について
Muto S. and Nagano Y.	2009 International Students Academic Presentation, Taiwan	Characterization of <i>A.thaliana</i> lipopolysaccharide-binding proteins (AtLBPs) in plant innate immune responses
Noguchi C., Iizasa E. and Nagano Y.	The 3rd Saga University-Daegu University Joint Seminar	Expression of plant receptor kinases in yeast
Iizasa E. and Nagano Y.	The 2nd Daegu University-Saga University Joint Symposium	Expression of LRR-RLK in Yeast for a Ligand Fishing
堀江健太 (研究指導: 永野幸生)	第32回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	LysM ドメインをもつ植物受容体キナーゼの生化学的性質の解析
野口千明 (研究指導: 永野幸生)	第32回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	フラジェリン受容体の酵母での発現及びリガンドとの結合解析
武藤さやか、永野幸生	第21回植物脂質シンポジウム	<i>A. thaliana</i> lipopolysaccharide-binding protein (AtLBP) の植物自然免疫における機能解析
Muto Y. and Nagano Y.	The 2nd Daegu University-Saga University Joint Symposium	Characterization of <i>Arabidopsis thaliana</i> Lipopolysaccharide-Binding Proteins (AtLBPs) in Plant Innate Immune Responses

宮城翔 (研究指導: 永野幸生)	第32回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	リバーズ2ハブリット法の原理を利用した特定遺伝子破壊システムの検出法
飯笹英一 (研究指導: 永野幸生)	第32回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム	植物ロイシンリッチリピート受容体様キナーゼの発現系構築とその機能解析
飯笹英一、永野幸生	大阪大学・蛋白研セミナー『蛋白質を創る、知る、使う～蛋白質科学と産業応用』	酵母を利用した高効率 DNA クローニング法およびその利用
堀江健太、飯笹英一、工藤隆大、永野幸生	平成20年度日本生化学会九州支部例会	LysMドメインをもつ植物受容体キナーゼの性質
北川 範仁、小田万友子、北嶋修司、高崎光浩、十時忠秀	日本麻酔科学会第55回学術集会	ケタミンによる神経障害のメカニズムは可溶性作用ではない
田中慎、溝呂木敏弘、西島和俊、青山博昭、大野民生	第55回日本実験動物学会総会	ラットにおける骨評価系
森本正敏、前田達弘、北嶋修司、小池智也、于 瑩、柴田信光、範 江林	第26回九州実験動物研究会総会	生活習慣病モデル動物となる遺伝子組換え(TG)ウサギの脳内活性物質の変化 I. TG ウサギの視床下部におけるNPY,SOM,VIP の検出
辻尾祐志、溝呂木敏弘、西島和俊、桑原佐知、大野民生、田中慎	第26回九州実験動物研究会総会	X 層構成細胞の退行時形態変化の系統差
山田壮亮、王 克鏞、谷本昭英、範 江林、島尻正平、北嶋修司、森本正敏、渡邊照男、笹栗靖之	第3回フォーラム「医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開」	細胞外基質分解酵素 MMP-12 は、初期動脈硬化巣の形成から進展に重要な促進因子である
Terato, H., Ohshima, M., Takuwa, M., Yoshimura, Y., Shiroyama, S., Hirayama, R., Furusawa, Y. and Ide, H.	10th International Workshop on Radiation Damage to DNA	Property of Clustered DNA Damage Produced by Heavy Ion Beams and the Molecular Mechanism of its Biological Effects.
Ide, H., Nakano, T., Salem, A. M. H., Terato, H., Pack S. P. and Makino, K	35th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry	Repair of DNA-protein crosslink damage: Coordinated actions of nucleotide excision repair and homologous recombination.
Terato, H., Watari, H., Shimazaki-Tokuyama, Y., Hirayama, R., Furusawa, Y. and Ide, H.	35th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry	Analysis for complexity of clustered DNA damage generated by heavy ion beams.
市場正良 高橋達也 山下善功 高石恵子 西村晃一 蒲池将史 近藤敏弘 松本明子 上野大介 宮島徹	第78回日本衛生学会	佐賀環境フォーラムにおけるシックスクール問題への取り組み

井出博, 寺東宏明	第 67 回日本癌学会学術総会	抗がん剤および変異原物質により誘発される DNA-タンパク質クロスリンク損傷の修復機構
寺東宏明, 島崎-徳山由佳, 渡裕美, 田中瑠理, 中新井祐介, 野原智紀, 平山亮一, 古澤佳也, 井出博	第 51 回日本放射線影響学会大会	放射線生物影響におけるクラスターDNA 損傷の量的, 質的効果の実験的解明へのアプローチ
島崎-徳山由佳, 田中瑠理, 中新井祐介, 平山亮一, 古澤佳也, 井出博, 寺東宏明	第 51 回日本放射線影響学会大会	重粒子線生物効果におけるクラスターDNA 損傷の量的効果の実験的解析
中野敏彰, 寺東宏明, 井出博	第 51 回日本放射線影響学会大会	高等真核生物における DNA-タンパク質クロスリンク損傷の修復機構
井出博, Salem, A., 中野敏彰, 坪井智宏, 寺東宏明	第 31 回日本分子生物学会年会, 第 81 回日本生化学会大会合同大会	DNA 修復欠損細胞の DNA-タンパク質クロスリンク誘発剤感受性
Amir, S., Nagisa, M., Tsuboi, T., Terato, H., Yamamoto, K., Yamada, M., Nohmi, T. and Ide, H.	第 51 回日本放射線影響学会大会	Repair and tolerance pathways to DNA-protein crosslink damage in Escherichia coli
池田進	機器・分析技術研究会	海水の有効利用(1)-塩析出における海水濃度と塩成分の関係-
池田進, 川内由美, 小西史子, 宮脇博巳	全国共同利用研究成果発表会	海水の有効利用(1)-塩析出における海水濃度と塩成分の関係-
Hiroki Kodama, Daigo Ito, Naoko Higashi, Masaaki Chiwa, Kyoichi Ohtsuki, Tohru Miyajima	IAP2008	Characteristic Comparison of Fulvic acid extracted from mountain stream in different forest forms.
M. M. Yee, T. Miyajima, H. Kodama, and N. Takisawa	IAP2008	Study of Ionic surfactants Binding to Humic Acid and Fulvic Acid by Dynamic Light Scattering and Potentiometric Titration
K.Tsuda, S. Aso, H. Kodama, K. Yonebayashi, N. Fujitake	IHSS	Comparison of ¹³ C NMR spectra of Fulvic acids from neighboring two clear water lakes in Japan.
兒玉宏樹, 宇田川洋, 伊藤大吾, 蒲池将士, 宮島徹	JHSS	伊万里湾及び有明海における海水中のコロイド有機成分の構造特性
関宰, 長尾誠也, 兒玉宏樹, 米林甲陽, 宮島徹, 中塚武, 藤嶽暢秀	JHSS	土壌, 堆積物, および溶存腐植物質の水素同位対比
兒玉宏樹, 伊藤大吾, 宮島徹	海環境と生物および沿岸環境修復技術に関するシンポジウム	筑後川水中フルボ酸の構造特性と Fe ³⁺ 錯生成特性
兒玉宏樹, 伊藤大吾, 東直子, 智和正明, 大槻恭一, 宮島徹	海環境と生物および沿岸環境修復技術に関するシンポジウム	針葉樹林及び広葉樹林渓流水からのフルボ酸の特性比較

外部資金

研究者名	資金名(金額:千円)	研究課題
北嶋修司	科学研究費補助金・基盤C (1,690)	新規遺伝子組換えウサギによるメタボリックシンドロームにおける PPAR の役割の解明
北嶋修司 (代表:塩見雅志)	厚生労働科学研究費補助金・創薬 基盤推進研究事業 (1,640)	急性冠症候群の疾患モデルウサギの開発及びバイオリソ ースの樹立
西島和俊 (代表:渡辺照男)	科学研究費補助金・基盤C (2,210)	急性冠症候群克服の疾患特異的 MMP の探索・遺伝子改 変ウサギを用いた研究
近藤敏弘	産業医学振興財団産業医学に関 する調査研究助成金 (分配金なし)	ホルムアルデヒド曝露作業者の個人曝露濃度測定評価
飯笹英一 (指導教員:永野幸生)	科学研究費補助金・特別研究員奨 励費 (900)	ロイシンリッチリピート受容体キナーゼとそのリガンドの相 互作用機構の解明
兒玉宏樹	財団法人電力中央研究所との共 同研究 (2,000)	地下水の溶存有機物評価に関する研究
兒玉宏樹 (代表:宮島徹)	新たな農林水産政策を推進する実 用技術開発事業・緊急対応型調査 研究 (10,000)	ため池等の浚渫土砂の有効利用法の実用化に向けた調 査研究
兒玉宏樹	佐賀大学海洋エネルギー研究セン ター共同利用研究 (150)	海洋深層水中の腐植物質の特性評価
兒玉宏樹 (代表:宮島徹)	アルゼント販売株式会社との共同 研究 (1,000)	バイオマスの有効利用のための調査研究
兒玉宏樹 (代表:宮島徹)	GPシリーズ (分担金:400)	「ICTを活用したグローバルな環境教育実践プログラム」
池田進	佐賀大学海洋エネルギー研究セン ター共同利用研究 (200)	ダイヤモンド電極による海水の電気化学特性および電解
池田進	福岡地区水道企業団 (交付金なし)	海淡センターの使用済み膜及び高濃度海水の有効利用 等:海水淡水化施設の高濃度海水の幅広い有効利用につ いて

8. 学外評価委員による評価結果・意見

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書(平成20年度)に対する評価・検証

平成20年度佐賀大学総合分析実験センターの自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 安田女子大学 薬学部

氏名 大山 義彦

検証日 平成21年 11月 17日

1. 評価手法 (適切であった・改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など

中期計画に沿ったセンター整備の進行状況と現状が点検されている。
また、センターの教職員の活動についても教育、研究、学内活動、社会貢献が
データに基づき点検されており、適切である。

2. 評価基準 (適切であった・改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など

それぞれの点検領域は複数の観点から現状の点検がなされており、多面的な努力
が読み取れる。

3. 評価の妥当性 (妥当である・妥当でない点がある)
意見、具体的改善点など

教職員の教育、研究活動は、多忙なセンター業務を考えると高く評価されるべきものである。センターが教育研究の総合支援を行うためには、中期計画にあるように機器整備や維持が極めて重要である。これは、センター教職員の努力だけでは難しい面もあるので、全学からの理解が望まれる。

その他

別紙参照

報告書についての意見

以下、報告書の構成に関しての意見です。予備知識がないので、誤解している点があるかと思いますが、ご容赦下さい。

- 1) 報告書の最初に、「はじめに」または「概要」があると、全体の構成がわかり読みやすくなると思います。
- 2) 教育支援領域の「ア教育支援環境に関する事項」と研究支援領域の「イ研究支援環境に関する事項」は、ともに中期計画の使用者の便宜を図り、機器の共同利用や有効利用を進めるに大きく関わる部分ですので、環境整備の領域を作ってそこにまとめた方が、良いのではないかと思います。
- 3) センターのセミナー記録（6 ページ）を具体的にデータとして記載されたいかがでしようか。
- 4) 学部生（または大学院生）が授業や実習をセンターで行うことはないのでしょうか。また、入学生の施設見学など。教育におけるセンターの貢献もさらに高まると思います。

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書(平成 20 年度)に対する評価・検証

平成 20 年度佐賀大学総合分析実験センターの自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 長崎大学先導生命科学研究支援センター

氏名 松田尚樹

検証日 平成 21 年 11 月 16 日

1. 評価手法

適切であったと判断いたします

2. 評価基準

適切であったと判断いたします

3. 評価の妥当性

適切であったと判断いたします

その他

別紙に記載させていただきました

別紙

本報告書は、佐賀大学総合分析実験センターの、1. 目的・目標、2. 概要、3. 領域別の自己点検評価につき明確にまとめられたもので、センター設置の目的に適った質の高い活動を進められていることがよく理解できます。全体としてたいへん興味深く、また、お手本にさせていただくべき活動も数多くあり、同様のセンターに所属する専任教員として、このような評価の機会を与えていただきましたことにお礼申し上げます。

以下、本文中には記載いたしませんでした点につき、愚見を申し上げます。

今回は貴センターによる自己点検評価につき検証を差し上げるということと承っておりますが、今回の報告書の中で、自己評価の手法、基準、および結果を見いだすことができませんでした。小職の浅薄な理解では、ある基準に対してどの程度の達成がみられたか、達成できた、あるいはできなかった理由はどこにあるか、次の課題や問題点は何か、といった点を内部に所属する者が自らの観点で論じ、公開することが自己評価であります。拝読させていただいた内容から、センターの業務状況、活動実績、および教員の教育研究実績についてはたいへんよく理解できましたが、これらはまさしく評価対象であり、それらを、どのような基準で、どのように評価されたのかにつきましては小職の理解の及ばぬところでございます。そのため、本紙におきましては、適切であったものと推測し、ご回答申し上げます。5. 総括、に述べられていることにつきましては、まったく疑問の余地もございませんので、もし、この部分が自己評価の結果ということであれば、その妥当性は極めて高いと考えます。

なお、最後に高経年化した機器、施設の問題を述べておられますが、これはおそらく多くの大学やセンターにおいても同様の一般的事項となるものと思われますので、3. 領域別の自己点検評価において具体的な問題点をもう少し多くお示しされた方が、センターの独自性、緊急性、および共通性をアピールすることができるのではないかと愚考いたします。

以上、蛇足として申し上げます。ご海容いただければ幸甚に存じます。

長崎大学

松岡 尚樹 拝

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書(平成20年度)に対する評価・検証

平成20年度佐賀大学総合分析実験センターの自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 鹿児島大学
フロンティアエンス研究推進センター

氏名 上村 亮三

検証日 平成21年11月17日

1. 評価手法 (適切であった・改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など

貴センターの評価法については、中期計画を含めた目的、センターの組織と概要、領域別の教育、研究、国際交流・社会貢献等についてそれぞれ評価を行っており、
分かり易くかつ明確な評価手法であると感じました。

2. 評価基準 (適切であった・改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など

評価基準では、中期目標を掲げながらセンターの整備状況と利用状況について言及され
かつ前年度まで(整備状況等)との比較、利用実績・研究実績・社会貢献実績等につい
ても詳細な記述がみられました。良好な評価基準であると思います。

3. 評価の妥当性 (妥当である・妥当でない点がある)
意見、具体的改善点など

評価の妥当性についても概ね良好と考えます。

その他

敢えて言うなら、センターの各部署の現状(老朽化や問題点)と改善していくべき方向性についても言及する欄を別枠で設け、今後のセンターの(予算獲得も含めた)運営方針にも寄与する。そういった形の報告書にしても良いのではないかと思います。

佐賀大学 学術研究協力部 研究協力課
研究センター担当 波平・古川 様

拝啓

晩秋の候、皆様にはお変わりなくご活躍のことと拝察申し上げます。

さて、昨日ご依頼頂きました、貴学総合分析実験センターの自己点検評価報告書について評価致しましたので書類をお送り致します。

報告書の内容については明確な表現で詳細に書かれていると思いました。

報告書はこれまでの実績等を中心とすべきものですが、一方で【点検】という表現がありますので、センターの将来の発展的な運営を見据えて「現状と問題点」や「今後整備していくべき点」についても言及することも重要であるのではと思った次第です。

この点についての【総括】部分での表現は少し足りないような気が致しました。

我々のセンターでも様々な問題を抱えながら、各部署それぞれで努力しています。是非とも貴学にも情報等頂きながら、前進していきたいと思っております。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

平成21年11月17日

鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター

動物実験施設

上村亮三 拝

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書(平成20年度)に対する評価・検証

平成20年度佐賀大学総合分析実験センターの自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 熊本保健科学大学

氏名 森本正敏

検証日 平成21年 11 月 17 日

1. 評価手法 (適切であった・改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など

適切と思われる。

2. 評価基準 (適切であった・改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など

適切と思われる。

3. 評価の妥当性 (妥当である・妥当でない点がある)
意見、具体的改善点など

妥当と思われる。

その他

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書(平成20年度)に対する評価・検証

平成20年度佐賀大学総合分析実験センターの自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 県立広島大学
氏名 西本 潤
検証日 平成21年11月17日

1. 評価手法 (適切であった・改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など

2. 評価基準 (適切であった・改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など

共同利用可能機器の数だけではなく利用実績でも評価するべきではないでしょうか。共同利用可能機器はセンター内に設置されていない機器ですので、元々利用希望者が少ない機器だと思われます。そのため利用実績はほとんどあがらないでしょうが、共同利用可能機器がなければ測定できないわけですので、年に1人でも利用者がいれば教育および研究支援として誇れる成果です。

3. 評価の妥当性 (妥当である・妥当でない点がある)
意見、具体的改善点など

その他

広範囲な支援業務を行っており、センター利用者の実績も多く、センターとして十分に役割を果たしています。またセンター職員の実績も多く、高度な支援体制ができつつある評価できます。

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書(平成20年度)に対する評価・検証

平成20年度佐賀大学総合分析実験センターの自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 岩手大学大学院連合農学研究科

氏名 稲葉 丈人

検証日 平成21年 11月 10日

1. 評価手法 (適切であった) 改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など
別紙参照

2. 評価基準 (適切であった) 改善すべき点があった)
意見、具体的改善点など
別紙参照

3. 評価の妥当性 (妥当である) 妥当でない点がある)
意見、具体的改善点など
別紙参照

その他

評価手法：適切であった

・コメント

研究・教育だけでなく、管理・運営や社会貢献などについても自己点検評価を行っており、バランスが取れている。

評価基準：適切であった

・コメント

評価基準は概ね妥当であるが、具体的な数値が示されているのは研究に関する項目が中心であるように思われた。環境負荷低減やコスト削減などは数値化が難しいが、こうした項目についても具体的にどの程度の効果があったのか（前年度に比べX%減、など）定量的な評価があってもよいと感じた。

評価の妥当性：妥当である

・コメント

自己評価は概ね妥当であるが、一方で「受託試験」のように今後改善を要する項目については、より具体的な今後の対策についても記載するのが望ましい。

その他

報告書から、佐賀大学における教育研究の総合的支援を行うセンターとしての活発な活動が伺えました。一方で、施設の老朽化などの問題を抱えていることもうかがえ、佐賀大学における教育研究の充実のためにも、大学からの重点的な支援が必要だと思います。